

沖縄県立病院経営計画 実施計画

1 県立病院の役割

北部病院は、救急医療、高度医療、特殊医療、不採算医療、医療従事者への研修等の役割を担っており、また、地域医療の拠点として地域医療支援病院に指定されている。
 周産期医療については、平成28年5月に、地域周産期母子医療センターに認定され、北部医療圏における周産期医療の中核となっている。
 平成28年12月には、急性期治療を終えた患者の在宅復帰を目的とする地域包括ケア病棟を設置し、在宅医療の支援に努めている。
 また、基幹型臨床研修病院として、研修医に対して研修プログラムを実施している。
 このほか、附属診療所として、伊平屋診療所、伊是名診療所を運営し、プライマリ・ケアを中心に地域に必要な医療を提供するとともに、相互に連携して救急医療にも対応している。
 今後は、現在の病院の役割を維持しつつ、地域の中核医療機関として診療科の強化、地域と連携した在宅医療の支援に努め、また、可能な限り地域完結型医療の提供体制の整備を行うとともに、地域包括ケアシステムの構築に向けた役割についても、一翼を担えるよう検討を進める。

2 経営目標

経常収支の黒字確保	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34
経常収支(百万円) (過去分退職給付引当金を除く)	148	△ 297	1	24	△ 87	56	147

3 経営の効率化に関する取組

(1) 収支の改善

	全体	病院							
		指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34
ア 収益の確保	○ 他医療機関との連携による患者数の確保、病床利用の効率化に努めるとともに、施設基準の取得やDPC分析の強化に加え査定・返戻の縮減等、引き続き収益の確保に向けて取り組む。	①入院患者総数(人)	81,953	83,766	88,177	88,227	92,582	92,582	92,582
		②外来患者総数(人)	102,096	99,522	88,356	92,091	93,508	95,995	98,550
		③病床利用率(稼働病床)(%)	79.6	89.3	94.0	93.8	95.0	95.0	95.0
		④在院日数(日)	12.8	14.2	13.4	13.4	13.4	13.4	13.4
		⑤入院診療単価(円)	48,279	48,795	49,452	50,650	51,000	52,000	52,500
		⑥外来診療単価(円)	12,778	12,246	12,315	12,560	12,692	12,882	13,000
		⑦診療報酬の返戻率(%)	1.01	0.96	0.95	0.90	0.90	0.90	0.90
		⑧診療報酬の査定率(%)	0.28	0.28	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45
		⑨個人負担分医療未収金の残高(百万円)	245,555	226,850	221,613	210,532	200,005	190,005	180,505
				○地域連携による紹介患者の増。(実施開始年度:30年度) ○地域医療機関への訪問。(実施開始年度:30年度) ○手術・検査目的患者の増。(実施開始年度:30年度) ○教育入院の取組。(実施開始年度:30年度) ○新規施設基準の取得。(実施開始年度:継続実施中) ○平成30年度の診療報酬同時改定へ向けた取組。(実施開始年度:29年度) ○レセプト点検システムの活用による査定の縮減。(実施開始年度:継続実施中) ○定期的な勉強会の開催による返戻査定情報の共有及び、積極的な再審査請求。(実施開始年度:30年度) ○個人未収金の発生防止及び、早期回収の維持(残高目標対前年度比95%)。(実施開始年度:継続実施中)					
イ 費用の縮減	○ 材料費等の適正化や委託業務の見直し等を引き続き実施し、費用の縮減に取り組む。	①材料費比率(%)	19.3	18.1	17.9	18.1	17.9	17.5	17.2
		②医療材料費比率(%)	18.3	17.0	16.8	16.9	16.7	16.3	16.1
		③経費比率(%)	14.0	15.2	14.9	14.9	14.6	14.3	14.1
		④委託比率(%)	7.2	8.0	8.1	7.8	7.9	7.7	7.6
		⑤後発医薬品使用比率(%)	88.7	90.7	88.7	88.7	88.7	88.7	88.7
				○共同購入の促進。(実施開始年度:継続実施中) ○後発医薬品の推進。(実施開始年度:継続実施中) ○適正な業務委託の検討。(実施開始年度:継続実施中)					

(2) 経営の安定性

	全体	病院							
		指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34
ア 資金の確保	○ 収益的収支における資金を確保するため、引き続き、収益の確保・費用の縮減に取り組む。	①経常収支比率(%)	102.4	95.5	98.4	98.8	97.3	99.3	100.5
		②医業収支比率(%)	93.4	86.3	89.8	89.6	89.4	91.5	93.0
		③職員給与対医業収益比率(%)	68.9	78.3	74.9	74.6	74.7	73.0	71.8
		④流動比率(%)	121.2	108.1	130.7	87.2	114.9	138.0	300.8
		⑤投資額(百万円)	300	74	120	546	180	71	189
		⑥企業債償還額(百万円)	288	284	283	282	246	230	220
		○地域連携による紹介患者の増。(実施開始年度:30年度) ○地域医療機関への訪問。(実施開始年度:継続実施中) ○手術・検査目的患者の増。(実施開始年度:30年度) ○教育入院の取組。(実施開始年度:30年度) ○新規施設基準の取得(精神科リエゾンチーム、認知症ケアチーム等)。(実施開始年度31年度) ○平成30年度の診療報酬同時改定へ向けた取組。(実施開始年度:29年度) ○レセプト点検システムの活用による査定の縮減。(実施開始年度:継続実施中) ○定期的な勉強会の開催による返戻査定情報の共有及び、積極的な再審査請求。(実施開始年度:30年度) ○個人未収金の発生防止及び、早期回収の維持(残高目標対前年度比95%)。(実施開始年度:継続実施中) ○共同購入の促進。(実施開始年度:継続実施中) ○後発医薬品の推進。(実施開始年度:継続実施中) ○適正な業務委託の検討。(実施開始年度:継続実施中)							

	全体	病院																																								
	イ 人材体制の整備と	<p>○ 県立病院の役割を踏まえ、医療提供体制の確保と経営の影響等を総合的に考慮し、医療制度改革の動向を注視しつつ、事業運営に必要な人員体制を整備する。</p> <p>○ 他の医療機関との協力連携の強化や県内外での説明会の実施、研修制度の充実等によって医師・看護師等の安定確保を行う。</p> <p>○ 医療の適切かつ安定的な提供と経営の効率化に資する人材を育成するため、各種研修等を推進し職員の資質及び能力の向上を図る。特に事務部門においては、病院運営の知識に優れた人材を育成し、専門性の強化を図る。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①レジナビの声かけ件数</td> <td>60</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>②医学生見学受入れ件数</td> <td>22</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>③その他研修受入れ件数</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>④事務部院内研修開催回数</td> <td></td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>○レジナビ等、研修医、看護師募集イベントへの参加。(実施開始年度:継続実施中)</p> <p>○研修、病院案内等のパンフレットの充実。(実施開始年度:30年度)</p> <p>○事務部職員の研修等による事務力の向上。(実施開始年度:30年度)</p> <p>○院内研修の充実。(実施開始年度:継続実施中)</p>	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①レジナビの声かけ件数	60	110	110	110	110	110	110	②医学生見学受入れ件数	22	25	25	25	25	25	25	③その他研修受入れ件数	15	15	15	15	15	15	15	④事務部院内研修開催回数		6	6	6	6	6
指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																																			
①レジナビの声かけ件数	60	110	110	110	110	110	110																																			
②医学生見学受入れ件数	22	25	25	25	25	25	25																																			
③その他研修受入れ件数	15	15	15	15	15	15	15																																			
④事務部院内研修開催回数		6	6	6	6	6	6																																			
ウ 効果的・効率的な設備投資	<p>○ 医療ニーズや施設状況の把握、企業債の償還シミュレーション等に基づいた経営的な視点での検討を前提に、選択と集中によって戦略的な経営を展開し、収益拡大に向け効果的・効率的な設備投資を行う。</p> <p>○ 医療機器(情報システム含む)の調達にあたっては、他病院や県立病院間の調達情報の収集・分析、県立病院間での一括調達の推進、競争入札による競争性を確保する等の取組により調達価格の低廉化を図る。</p> <p>○ 施設整備については、沖縄県立病院施設等総合管理計画(現在策定中)に基づき、ファシリティマネジメントを活用した中長期的な改修・更新を行う。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①建設改良費(百万円)</td> <td>300</td> <td>74</td> <td>120</td> <td>546</td> <td>180</td> <td>71</td> <td>189</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○施設・医療機器について修繕・更新計画をたて、経営的視点から優先順位を定め、より効果的、効率的な設備投資を行う。</p> <p>○H30年度:医療ガス装置改修予定。</p> <p>○H31年度:電子カルテ更新。</p> <p>○H32年度:アンギオ装置更新。</p> <p>○H34年度:CT装置更新。</p>	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①建設改良費(百万円)	300	74	120	546	180	71	189	②								③								④							
指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																																			
①建設改良費(百万円)	300	74	120	546	180	71	189																																			
②																																										
③																																										
④																																										

4 役割を果たしていくための取組

(1)救急医療

全体	病院																																
<ul style="list-style-type: none"> ○ 24時間365日、救急患者を受け入れるための環境の整備 ○ 市町村及び地域医療機関等との更なる連携の強化 ○ 北部及び離島での安定した医療スタッフの確保 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①救急入院患者延数(人)</td> <td>3,854</td> <td>3,789</td> <td>4,006</td> <td>4,006</td> <td>4,006</td> <td>4,006</td> <td>4,006</td> </tr> <tr> <td>②救急車輻受入数(件)</td> <td>3,658</td> <td>3,669</td> <td>3,571</td> <td>3,571</td> <td>3,571</td> <td>3,571</td> <td>3,571</td> </tr> <tr> <td>③救急受診患者数(人)</td> <td>22,775</td> <td>23,915</td> <td>20,727</td> <td>20,727</td> <td>20,727</td> <td>20,727</td> <td>20,727</td> </tr> </tbody> </table>	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①救急入院患者延数(人)	3,854	3,789	4,006	4,006	4,006	4,006	4,006	②救急車輻受入数(件)	3,658	3,669	3,571	3,571	3,571	3,571	3,571	③救急受診患者数(人)	22,775	23,915	20,727	20,727	20,727	20,727	20,727
	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																									
	①救急入院患者延数(人)	3,854	3,789	4,006	4,006	4,006	4,006	4,006																									
	②救急車輻受入数(件)	3,658	3,669	3,571	3,571	3,571	3,571	3,571																									
③救急受診患者数(人)	22,775	23,915	20,727	20,727	20,727	20,727	20,727																										
<ul style="list-style-type: none"> ○救急医の確保にむけた取組。(実施開始年度:継続実施中) ○救急入院受け入れ体制の整備(人的、物的)。(実施開始年度:継続実施中) ○適正受診の呼びかけ。(実施開始年度:継続実施中) 																																	

(2)小児・周産期医療

全体	病院																																																
<ul style="list-style-type: none"> ○ 安定した小児医療提供体制の整備と機能の充実 ○ 周産期医療の中核となる総合・地域周産期母子医療センターの充実 ○ 専門医師、看護師、助産師等の安定的な人材の確保 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①分娩件数(件)</td> <td>159</td> <td>164</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>うち異常分娩件数(件)</td> <td>88</td> <td>85</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>②NICU入院患者延数(人)</td> <td>1,059</td> <td>1,208</td> <td>2,048</td> <td>2,048</td> <td>2,048</td> <td>2,048</td> <td>2,048</td> </tr> <tr> <td>③小児患者延数(人)</td> <td>21,020</td> <td>21,824</td> <td>18,918</td> <td>18,918</td> <td>18,918</td> <td>18,918</td> <td>18,918</td> </tr> <tr> <td>④PICU入院患者延数(人)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①分娩件数(件)	159	164	200	200	200	200	200	うち異常分娩件数(件)	88	85	110	110	110	110	110	②NICU入院患者延数(人)	1,059	1,208	2,048	2,048	2,048	2,048	2,048	③小児患者延数(人)	21,020	21,824	18,918	18,918	18,918	18,918	18,918	④PICU入院患者延数(人)	-	-	-	-	-	-	-
	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																																									
	①分娩件数(件)	159	164	200	200	200	200	200																																									
	うち異常分娩件数(件)	88	85	110	110	110	110	110																																									
②NICU入院患者延数(人)	1,059	1,208	2,048	2,048	2,048	2,048	2,048																																										
③小児患者延数(人)	21,020	21,824	18,918	18,918	18,918	18,918	18,918																																										
④PICU入院患者延数(人)	-	-	-	-	-	-	-																																										
<ul style="list-style-type: none"> ○産婦人科医師、小児科医師の確保に向けた取組(実施開始年度:継続中) 																																																	

(3)離島・へき地医療

全体	病院																
<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内外の大学や医療機関と連携による医師の確保 ○ 島しょ看護に係る研修の実施 ○ 代診・代看等による勤務スタッフの研修参加等の支援 ○ 附属診療所における医療提供体制を維持するための市町村との更なる連携・協力 ○ 設備や医療機器等の整備 ○ 新八重山病院の新築移転による医療提供体制の整備充実 ○ 中部病院及び南部医療センター・こども医療センターからの北部及び離島への応援体制の充実 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①附属診療所の患者延べ数(人)</td> <td>10,321</td> <td>10,493</td> <td>8,943</td> <td>8,968</td> <td>8,943</td> <td>8,943</td> <td>8,943</td> </tr> </tbody> </table>	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①附属診療所の患者延べ数(人)	10,321	10,493	8,943	8,968	8,943	8,943	8,943
	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34									
	①附属診療所の患者延べ数(人)	10,321	10,493	8,943	8,968	8,943	8,943	8,943									
	<ul style="list-style-type: none"> ○診療所所在市町村との更なる連携。(実施開始年度:継続中) ○代診、代看による研修の確保。(実施開始年度:継続中) ○医師住宅、看護師住宅の整備。(実施開始年度:〇〇年度) 																

(4)教育研修

全体	病院																																																																
<ul style="list-style-type: none"> ○ 研修医の安定的な確保・育成 ○ 指導医や専門医等の指導スタッフの確保・育成 ○ 教育研修プログラムの整備充実 ○ 教育研修に必要な設備・機能の充実 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①研修医の受入数(人)</td> <td>21</td> <td>24</td> <td>26</td> <td>26</td> <td>26</td> <td>26</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>初期研修</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>後期研修</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>②看護実習の受入数(人)</td> <td>451</td> <td>450</td> <td>450</td> <td>450</td> <td>450</td> <td>450</td> <td>450</td> </tr> <tr> <td>③地域の医療機関からの看護師、助産師の研修受入数(人)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④コメディカルの研修受入数(人)</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①研修医の受入数(人)	21	24	26	26	26	26	26	初期研修	7	9	10	10	10	10	10	後期研修	4	5	6	6	6	6	6	その他	10	10	10	10	10	10	10	②看護実習の受入数(人)	451	450	450	450	450	450	450	③地域の医療機関からの看護師、助産師の研修受入数(人)								④コメディカルの研修受入数(人)	15	15	15	15	15		
	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																																																									
	①研修医の受入数(人)	21	24	26	26	26	26	26																																																									
	初期研修	7	9	10	10	10	10	10																																																									
後期研修	4	5	6	6	6	6	6																																																										
その他	10	10	10	10	10	10	10																																																										
②看護実習の受入数(人)	451	450	450	450	450	450	450																																																										
③地域の医療機関からの看護師、助産師の研修受入数(人)																																																																	
④コメディカルの研修受入数(人)	15	15	15	15	15																																																												
<ul style="list-style-type: none"> ○レジナビ等、研修医、看護師募集イベントへの参加。(実施開始年度:継続中) ○研修、病院案内等のパンフレットの充実。(実施開始年度:30年度) ○コメディカルの研修受入の充実。(実施開始年度:継続中) 																																																																	

沖縄県立病院経営計画 実施計画

1 県立病院の役割

中部病院は、救急医療、高度医療、特殊医療、不採算医療、医療従事者への研修などの役割や、中部医療圏におけるがん診療連携拠点病院としての役割を担っており、また、地域医療の拠点として、地域医療支援病院に指定されている。

救急医療については、1次からの救急患者に対応しながら、救命救急センターとして、重症及び複数の診療科領域にわたる重篤な救急患者に対し、高度な救急医療を総合的に提供している。

周産期医療については、総合周産期母子医療センターとして、中部及び北部医療圏のリスクの高い妊婦に対する医療等を提供している。

また、基幹型臨床研修病院として、研修医に対して研修プログラムを実施するとともに、へき地医療拠点病院として、診療所に医師を派遣し、離島の人人々の健康をサポートしているほか、離島中核病院に医師を派遣する役割も担っている。

災害医療については、都道府県の中心的な役割を果たす基幹災害拠点病院に指定されている。

さらに、日本臓器移植ネットワーク会員施設となっており、県内唯一の生体肝移植を行っている。

このほか、附属診療所として、津堅診療所を運営し、プライマリ・ケアを中心に地域に必要な医療を提供するとともに、相互に連携して救急医療にも対応している。

今後は現在の病院の役割を維持しつつ、地域包括ケアシステムの構築に向けた役割については、在宅療養患者の緊急時における後方病床の確保や人材育成など、病院の特性に応じて、検討する必要がある。

2 経営目標

経常収支の黒字確保	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34
経常収支(百万円) (過去分退職給付引当金を除く)	△232	△898	△201	519	△107	246	737

3 経営の効率化に関する取組

(1) 収支の改善

ア 収益の確保	全体	病院																																																																															
	<ul style="list-style-type: none"> 他医療機関との連携による患者数の確保、病床利用の効率化に努めるとともに、施設基準の取得やDPC分析の強化に加え、査定・返戻率の縮減等、引き続き収益の確保に向けて取り組む。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①入院患者総数(人)</td> <td>192,825</td> <td>191,191</td> <td>182,058</td> <td>188,844</td> <td>193,459</td> <td>194,472</td> <td>196,498</td> </tr> <tr> <td>②外来患者総数(人)</td> <td>209,713</td> <td>199,426</td> <td>205,253</td> <td>203,599</td> <td>204,500</td> <td>204,500</td> <td>204,500</td> </tr> <tr> <td>③病床利用率(稼働病床)(%)</td> <td>97.1</td> <td>95.9</td> <td>91.4</td> <td>94.8</td> <td>95.5</td> <td>96.0</td> <td>97.0</td> </tr> <tr> <td>④在院日数(日)</td> <td>12.7</td> <td>12.3</td> <td>12.2</td> <td>12.1</td> <td>12.0</td> <td>12.0</td> <td>12.0</td> </tr> <tr> <td>⑤入院診療単価(円)</td> <td>61,711</td> <td>62,502</td> <td>63,606</td> <td>65,199</td> <td>67,000</td> <td>68,500</td> <td>70,000</td> </tr> <tr> <td>⑥外来診療単価(円)</td> <td>15,170</td> <td>16,046</td> <td>16,917</td> <td>16,796</td> <td>17,000</td> <td>17,000</td> <td>17,000</td> </tr> <tr> <td>⑦診療報酬の返戻率(%)</td> <td>3.43</td> <td>2.30</td> <td>2.19</td> <td>1.75</td> <td>1.57</td> <td>1.41</td> <td>1.27</td> </tr> <tr> <td>⑧診療報酬の査定率(%)</td> <td>0.59</td> <td>0.70</td> <td>0.42</td> <td>0.37</td> <td>0.33</td> <td>0.29</td> <td>0.36</td> </tr> <tr> <td>⑨個人負担分医療未収金の残高(千円)</td> <td>723,982</td> <td>735,251</td> <td>696,198</td> <td>661,389</td> <td>628,319</td> <td>596,903</td> <td>567,058</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 地域連携(実施開始年度:30年度) <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療連携の強化による前方連携、後方連携の強化、紹介患者(新患)の確保 ONICU増床(実施開始年度:31年度) <ul style="list-style-type: none"> ・NICU・GCUの増床に向けての体制強化と増床工事(+9床) 診療情報管理士の配置(委託)により、DPC分析・コーディングの適正化を図り、収益の確保に努める。(実施開始年度:31年度) 個人負担分未収金と公費請求保留による未請求を削減し、病院運営を健全化する。(30年度も引き続き実施) 診療報酬の査定・返戻率の縮減を図り、収益の確保に努める。(30年度も引き続き実施) 	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①入院患者総数(人)	192,825	191,191	182,058	188,844	193,459	194,472	196,498	②外来患者総数(人)	209,713	199,426	205,253	203,599	204,500	204,500	204,500	③病床利用率(稼働病床)(%)	97.1	95.9	91.4	94.8	95.5	96.0	97.0	④在院日数(日)	12.7	12.3	12.2	12.1	12.0	12.0	12.0	⑤入院診療単価(円)	61,711	62,502	63,606	65,199	67,000	68,500	70,000	⑥外来診療単価(円)	15,170	16,046	16,917	16,796	17,000	17,000	17,000	⑦診療報酬の返戻率(%)	3.43	2.30	2.19	1.75	1.57	1.41	1.27	⑧診療報酬の査定率(%)	0.59	0.70	0.42	0.37	0.33	0.29	0.36	⑨個人負担分医療未収金の残高(千円)	723,982	735,251	696,198	661,389	628,319	596,903
指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																																																																										
①入院患者総数(人)	192,825	191,191	182,058	188,844	193,459	194,472	196,498																																																																										
②外来患者総数(人)	209,713	199,426	205,253	203,599	204,500	204,500	204,500																																																																										
③病床利用率(稼働病床)(%)	97.1	95.9	91.4	94.8	95.5	96.0	97.0																																																																										
④在院日数(日)	12.7	12.3	12.2	12.1	12.0	12.0	12.0																																																																										
⑤入院診療単価(円)	61,711	62,502	63,606	65,199	67,000	68,500	70,000																																																																										
⑥外来診療単価(円)	15,170	16,046	16,917	16,796	17,000	17,000	17,000																																																																										
⑦診療報酬の返戻率(%)	3.43	2.30	2.19	1.75	1.57	1.41	1.27																																																																										
⑧診療報酬の査定率(%)	0.59	0.70	0.42	0.37	0.33	0.29	0.36																																																																										
⑨個人負担分医療未収金の残高(千円)	723,982	735,251	696,198	661,389	628,319	596,903	567,058																																																																										
イ 費用の縮減	全体	病院																																																																															
<ul style="list-style-type: none"> 材料費等の適正化や委託業務の見直し等を引き続き実施し、費用の縮減に取り組む。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①材料費比率(%)</td> <td>24.1</td> <td>24.1</td> <td>22.6</td> <td>22.6</td> <td>21.9</td> <td>21.6</td> <td>21.1</td> </tr> <tr> <td>②医療材料費比率(%)</td> <td>23.1</td> <td>23.0</td> <td>21.7</td> <td>21.6</td> <td>21.0</td> <td>20.6</td> <td>20.2</td> </tr> <tr> <td>③経費比率(%)</td> <td>16.8</td> <td>17.1</td> <td>17.6</td> <td>18.0</td> <td>16.8</td> <td>16.5</td> <td>16.1</td> </tr> <tr> <td>④委託比率(%)</td> <td>9.3</td> <td>10.1</td> <td>9.6</td> <td>9.6</td> <td>9.3</td> <td>9.1</td> <td>8.9</td> </tr> <tr> <td>⑤後発医薬品使用比率(%)</td> <td>76.5</td> <td>80.0</td> <td>80.0</td> <td>85.0</td> <td>85.0</td> <td>85.0</td> <td>85.0</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 後発医薬品への切替(30年度も引き続き実施) <ul style="list-style-type: none"> ・後発医薬品の採用比率の80%超の比率をめざし費用縮減に取り組む。 委託契約の見直しによる委託料の縮減(実施開始年度:31年度) 診療材料委員会などを活用し、新規を含めた材料の購入については効率性に重きを置いた検討をする(実施中) 職員の時間外勤務の縮減(実施開始年度:30年度) 	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①材料費比率(%)	24.1	24.1	22.6	22.6	21.9	21.6	21.1	②医療材料費比率(%)	23.1	23.0	21.7	21.6	21.0	20.6	20.2	③経費比率(%)	16.8	17.1	17.6	18.0	16.8	16.5	16.1	④委託比率(%)	9.3	10.1	9.6	9.6	9.3	9.1	8.9	⑤後発医薬品使用比率(%)	76.5	80.0	80.0	85.0	85.0	85.0	85.0																																
指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																																																																										
①材料費比率(%)	24.1	24.1	22.6	22.6	21.9	21.6	21.1																																																																										
②医療材料費比率(%)	23.1	23.0	21.7	21.6	21.0	20.6	20.2																																																																										
③経費比率(%)	16.8	17.1	17.6	18.0	16.8	16.5	16.1																																																																										
④委託比率(%)	9.3	10.1	9.6	9.6	9.3	9.1	8.9																																																																										
⑤後発医薬品使用比率(%)	76.5	80.0	80.0	85.0	85.0	85.0	85.0																																																																										

(2) 経営の安定性

ア 資金の確保	全体	病院																																																							
	<ul style="list-style-type: none"> 収益的収支における資金を確保するため、引き続き、収益の確保・費用の縮減に取り組む。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①経常収支比率(%)</td> <td>98.7</td> <td>95.0</td> <td>97.5</td> <td>101.5</td> <td>98.2</td> <td>100.0</td> <td>102.5</td> </tr> <tr> <td>②医業収支比率(%)</td> <td>93.4</td> <td>90.0</td> <td>93.0</td> <td>92.5</td> <td>92.2</td> <td>94.1</td> <td>96.9</td> </tr> <tr> <td>③職員給与対医業収益比率(%)</td> <td>59.4</td> <td>62.9</td> <td>62.0</td> <td>62.9</td> <td>65.3</td> <td>63.9</td> <td>62.3</td> </tr> <tr> <td>④流動比率(%)</td> <td>167.6</td> <td>131.0</td> <td>159.1</td> <td>126.4</td> <td>159.8</td> <td>163.9</td> <td>347.3</td> </tr> <tr> <td>⑤投資額(百万円)</td> <td>1341</td> <td>168</td> <td>76</td> <td>1008</td> <td>353</td> <td>561</td> <td>711</td> </tr> <tr> <td>⑥企業償還額(百万円)</td> <td>875</td> <td>883</td> <td>953</td> <td>918</td> <td>830</td> <td>828</td> <td>686</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて業務委託を派遣職員に置き換えることで、業務の効率化と収益確保を図る。(実施開始年度:31年度) 直接雇用により診療報酬に加算される職種については積極的に雇用し、収益を確保する。(実施開始年度:31年度) 	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①経常収支比率(%)	98.7	95.0	97.5	101.5	98.2	100.0	102.5	②医業収支比率(%)	93.4	90.0	93.0	92.5	92.2	94.1	96.9	③職員給与対医業収益比率(%)	59.4	62.9	62.0	62.9	65.3	63.9	62.3	④流動比率(%)	167.6	131.0	159.1	126.4	159.8	163.9	347.3	⑤投資額(百万円)	1341	168	76	1008	353	561	711	⑥企業償還額(百万円)	875	883	953	918	830	828
指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																																																		
①経常収支比率(%)	98.7	95.0	97.5	101.5	98.2	100.0	102.5																																																		
②医業収支比率(%)	93.4	90.0	93.0	92.5	92.2	94.1	96.9																																																		
③職員給与対医業収益比率(%)	59.4	62.9	62.0	62.9	65.3	63.9	62.3																																																		
④流動比率(%)	167.6	131.0	159.1	126.4	159.8	163.9	347.3																																																		
⑤投資額(百万円)	1341	168	76	1008	353	561	711																																																		
⑥企業償還額(百万円)	875	883	953	918	830	828	686																																																		

イ 人 材 体 制 の 安 定 の 確 保 と	全体	病院																																							
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県立病院の役割を踏まえ、医療提供体制の確保と経営の影響等を総合的に考慮し、医療制度改革の動向を注視しつつ、事業運営に必要な人員体制を整備する。 ○ 他の医療機関との協力連携の強化や県内外での説明会の実施、研修制度の充実等によって医師・看護師等の安定確保を行う。 ○ 医療の適切かつ安定的な提供と経営の効率化に資する人材を育成するため、各種研修等を推進し職員の資質及び能力の向上を図る。特に事務部門においては、病院運営の知識に優れた人材を育成し、専門性の強化を図る。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①実習生受入人数</td> <td>691</td> <td>778</td> <td>830</td> <td>830</td> <td>830</td> <td>830</td> <td>830</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○取組内容を記載 ○事務部門の人材育成・専門性の強化(実施開始年度:30年度) ・病院事業局採用事務職員の計画的な人材育成プランの構築 ・県内外への研修会・勉強会への参加(予算確保) ○特定集中治療室管理料4から2へ(実施開始年度:30年度) ・ICU専門医の計画的育成 ○嘱託職員一般化と長期雇用契約による人材の安定確保(実施開始年度:32年度)</p>	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①実習生受入人数	691	778	830	830	830	830	830	②								③								④						
指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																																		
①実習生受入人数	691	778	830	830	830	830	830																																		
②																																									
③																																									
④																																									

ウ 効 果 的 ・ 効 率 的 な 設 備 投 資	全体	病院																																																																																																																																															
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 医療ニーズや施設状況の把握、企業債の償還シミュレーション等に基づいた経営的な視点での検討を前提に、選択と集中によって戦略的な経営を展開し、収益拡大に向け効果的・効率的な設備投資を行う。 ○ 医療機器(情報システム含む)の調達にあたっては、他病院や県立病院間の調達情報の収集・分析、県立病院間での一括調達の推進、競争入札による競争性を確保する等の取組により調達価格の低廉化を図る。 ○ 施設整備については、沖縄県立病院施設等総合管理計画(現在策定中)に基づき、ファシリティマネジメントを活用した中長期的な改修・更新を行う。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①NICU工事等</td> <td></td> <td></td> <td>7</td> <td>162</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②耐震改修設計等</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>25</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③南棟耐震工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>206</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④保育器等各種機器</td> <td></td> <td></td> <td>59</td> <td>225</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤3D腹腔鏡手術システム一式 其他各種機器</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>341</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑥一般撮影装置</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>68</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑦医療情報・放射線画像情報システム</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>177</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑧MRI(リプレイス更新)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>70</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑨X線TV</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>51</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑩核医学システム(画像、フード更新)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑪循環器造影装置(更新)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑫血管造影装置</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>250</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑬放射線治療装置(更新)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>700</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○取組内容を記載 ○費用対効果を考慮して優先順位をつけ、購入計画を作成する。(実施開始年度:30年度)</p>	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①NICU工事等			7	162				②耐震改修設計等				25				③南棟耐震工事					206			④保育器等各種機器			59	225				⑤3D腹腔鏡手術システム一式 其他各種機器				341				⑥一般撮影装置				68				⑦医療情報・放射線画像情報システム				177				⑧MRI(リプレイス更新)					70			⑨X線TV					51			⑩核医学システム(画像、フード更新)					15			⑪循環器造影装置(更新)						300		⑫血管造影装置						250		⑬放射線治療装置(更新)							700																															
指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																																																																																																																																										
①NICU工事等			7	162																																																																																																																																													
②耐震改修設計等				25																																																																																																																																													
③南棟耐震工事					206																																																																																																																																												
④保育器等各種機器			59	225																																																																																																																																													
⑤3D腹腔鏡手術システム一式 其他各種機器				341																																																																																																																																													
⑥一般撮影装置				68																																																																																																																																													
⑦医療情報・放射線画像情報システム				177																																																																																																																																													
⑧MRI(リプレイス更新)					70																																																																																																																																												
⑨X線TV					51																																																																																																																																												
⑩核医学システム(画像、フード更新)					15																																																																																																																																												
⑪循環器造影装置(更新)						300																																																																																																																																											
⑫血管造影装置						250																																																																																																																																											
⑬放射線治療装置(更新)							700																																																																																																																																										

4 役割を果たしていくための取組

(1) 救急医療

全体	病院																								
<ul style="list-style-type: none"> ○ 24時間365日、救急患者を受け入れるための環境の整備 ○ 市町村及び地域医療機関等との更なる連携の強化 ○ 北部及び離島での安定した医療スタッフの確保 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①救急入院患者延数(人)</td> <td>7,723</td> <td>8,449</td> <td>8,344</td> <td>8,344</td> <td>8,344</td> <td>8,344</td> <td>8,344</td> </tr> <tr> <td>②救急車搬入人数(件)</td> <td>7,804</td> <td>7,671</td> <td>7,301</td> <td>7,301</td> <td>7,301</td> <td>7,301</td> <td>7,301</td> </tr> </tbody> </table>	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①救急入院患者延数(人)	7,723	8,449	8,344	8,344	8,344	8,344	8,344	②救急車搬入人数(件)	7,804	7,671	7,301	7,301	7,301	7,301	7,301
	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																	
	①救急入院患者延数(人)	7,723	8,449	8,344	8,344	8,344	8,344	8,344																	
②救急車搬入人数(件)	7,804	7,671	7,301	7,301	7,301	7,301	7,301																		
<ul style="list-style-type: none"> ○取組内容を記載 ○救急医療に携わる医師等の負担軽減(実施開始年度:30年度) <ul style="list-style-type: none"> ・人員体制の強化、応援体制の充実、医師クラークの活用、コンサルジュの導入 ○…医師・技師等の増員による離職・疲弊の解消(30年度も引き続き実施) ○…地域医療機関、大学病院との連携強化による救急患者受入体制の強化(30年度も引き続き実施) ○…繰入金を有効活用した救急医療の体制の整備強化(実施開始年度:31年度) 																									

(2) 小児・周産期医療

全体	病院																																																								
<ul style="list-style-type: none"> ○ 安定した小児医療提供体制の整備と機能の充実 ○ 周産期医療の中核となる総合・地域周産期母子医療センターの充実 ○ 専門医師、看護師、助産師等の安定的な人材の確保 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①分娩件数(件)</td> <td>1,131</td> <td>1,117</td> <td>1,177</td> <td>1,209</td> <td>1,242</td> <td>1,242</td> <td>1,242</td> </tr> <tr> <td>うち異常分娩件数(件)</td> <td>488</td> <td>512</td> <td>541</td> <td>534</td> <td>548</td> <td>548</td> <td>548</td> </tr> <tr> <td>②NICU入院患者延数(人)</td> <td>4,299</td> <td>4,187</td> <td>4,274</td> <td>5,714</td> <td>7,527</td> <td>7,527</td> <td>7,527</td> </tr> <tr> <td>③小児患者延数(人)入院</td> <td>18,066</td> <td>18,355</td> <td>17,918</td> <td>15,781</td> <td>16,551</td> <td>16,551</td> <td>16,551</td> </tr> <tr> <td>④小児患者延数(人)外来</td> <td>18,938</td> <td>12,852</td> <td>12,483</td> <td>12,483</td> <td>12,483</td> <td>12,483</td> <td>12,483</td> </tr> <tr> <td>⑤PICU入院患者延数(人)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①分娩件数(件)	1,131	1,117	1,177	1,209	1,242	1,242	1,242	うち異常分娩件数(件)	488	512	541	534	548	548	548	②NICU入院患者延数(人)	4,299	4,187	4,274	5,714	7,527	7,527	7,527	③小児患者延数(人)入院	18,066	18,355	17,918	15,781	16,551	16,551	16,551	④小児患者延数(人)外来	18,938	12,852	12,483	12,483	12,483	12,483	12,483	⑤PICU入院患者延数(人)	0	0	0	0	0	0	0
	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																																																	
	①分娩件数(件)	1,131	1,117	1,177	1,209	1,242	1,242	1,242																																																	
	うち異常分娩件数(件)	488	512	541	534	548	548	548																																																	
	②NICU入院患者延数(人)	4,299	4,187	4,274	5,714	7,527	7,527	7,527																																																	
	③小児患者延数(人)入院	18,066	18,355	17,918	15,781	16,551	16,551	16,551																																																	
④小児患者延数(人)外来	18,938	12,852	12,483	12,483	12,483	12,483	12,483																																																		
⑤PICU入院患者延数(人)	0	0	0	0	0	0	0																																																		
<ul style="list-style-type: none"> ○取組内容を記載 ○小児・周産期医療に携わる医師等の負担軽減(30年度も引き続き実施) <ul style="list-style-type: none"> ・人員体制の強化、定数の確保 ○…労働法遵守による人材確保と人材育成の両立(30年度も引き続き実施) ○…NICU・GCU増床による周産期医療受け入れ体制の強化(実施開始年度:31年度) 																																																									

(3) 離島・へき地医療

全体	病院																
<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内外の大学や医療機関と連携による医師の確保 ○ 島しょ看護に係る研修の実施 ○ 代診・代看等による勤務スタッフの研修参加等の支援 ○ 附属診療所における医療提供体制を維持するための市町村との更なる連携・協力 ○ 設備や医療機器等の整備 ○ 新八重山病院の新築移転による医療提供体制の整備充実 ○ 中部病院及び南部医療センター・こども医療センターからの北部及び離島への応援体制の充実 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①附属診療所の患者延べ数(人)</td> <td>2,349</td> <td>2,383</td> <td>2,383</td> <td>2,383</td> <td>2,383</td> <td>2,383</td> <td>2,383</td> </tr> </tbody> </table>	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①附属診療所の患者延べ数(人)	2,349	2,383	2,383	2,383	2,383	2,383	2,383
	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34									
	①附属診療所の患者延べ数(人)	2,349	2,383	2,383	2,383	2,383	2,383	2,383									
	<ul style="list-style-type: none"> ○取組内容と関連指標の目標等を記載 ○離島の地域医療の安定確保のために安定的な派遣を行う ○うるま市との連携強化(30年度も引き続き実施) <ul style="list-style-type: none"> ・うるま市、自治体、病院との「津堅島における医療・介護の安心安全な体制確保に関する3者間基本協定書」の締結 ・安全対策員の配置、防犯カメラの設置、連絡会議の開催 ○…琉球大学との「救急医療体制・離島診療支援の充実」に関する取り組みを進める。(30年度も引き続き実施) ○…代診応援による離島診療支援の強化の継続実施(30年度も引き続き実施) ○…離島・へき地遠隔医療支援情報システムの活用する(30年度も引き続き実施) 																

(4) 教育研修

全体	病院																																																																
<ul style="list-style-type: none"> ○ 研修医の安定的な確保・育成 ○ 指導医や専門医等の指導スタッフの確保・育成 ○ 教育研修プログラムの整備充実 ○ 教育研修に必要な設備・機能の充実 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①研修医の受入数(人)</td> <td>95</td> <td>99</td> <td>115</td> <td>115</td> <td>115</td> <td>115</td> <td>115</td> </tr> <tr> <td>初期研修</td> <td>56</td> <td>55</td> <td>57</td> <td>59</td> <td>59</td> <td>59</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>後期研修</td> <td>32</td> <td>38</td> <td>42</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>②看護実習の受入数(人)</td> <td>511</td> <td>605</td> <td>600</td> <td>600</td> <td>600</td> <td>600</td> <td>600</td> </tr> <tr> <td>③地域の医療機関からの看護師、助産師の研修受入数(人)</td> <td>24</td> <td>28</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>④コメディカルの研修受入数(人)</td> <td>61</td> <td>46</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table>	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①研修医の受入数(人)	95	99	115	115	115	115	115	初期研修	56	55	57	59	59	59	59	後期研修	32	38	42	40	40	40	40	その他	7	6	16	16	16	16	16	②看護実習の受入数(人)	511	605	600	600	600	600	600	③地域の医療機関からの看護師、助産師の研修受入数(人)	24	28	35	35	35	35	35	④コメディカルの研修受入数(人)	61	46	80	80	80	80	80
	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																																																									
	①研修医の受入数(人)	95	99	115	115	115	115	115																																																									
	初期研修	56	55	57	59	59	59	59																																																									
	後期研修	32	38	42	40	40	40	40																																																									
その他	7	6	16	16	16	16	16																																																										
②看護実習の受入数(人)	511	605	600	600	600	600	600																																																										
③地域の医療機関からの看護師、助産師の研修受入数(人)	24	28	35	35	35	35	35																																																										
④コメディカルの研修受入数(人)	61	46	80	80	80	80	80																																																										
<ul style="list-style-type: none"> ○初期研修医の安定確保(平成30年度も引き続き実施) ○新専門医制度研修施設として魅力ある研修プログラムを提供し、研修医のキャリアデザインを支援する。(平成30年度も引き続き実施) ○指導医資格取得を推進する(実施開始年度:31年度) ○地域包括ケアシステムの構築に向け、地域の医療機関からの研修を受け入れ、連携を強化する(平成30年度も引き続き実施) ○県内外から研修生を受け入れ、医療者の育成を図る(平成30年度も引き続き実施) 																																																																	

沖縄県立病院経営計画 実施計画

1 県立病院の役割

南部医療センター・こども医療センターは、全国でも数少ないこども病院を併設した大人と子どものための総合医療センターであり、救急医療、高度医療、特殊医療、不採算医療、医療従事者への研修などの役割を担っており、また、地域医療の拠点として地域医療支援病院に指定されている。救急医療については、救命救急センターとして、重症及び複数の診療科領域にわたる重篤な救急患者に対し、高度な救急医療を総合的に提供しているとともに、平成28年4月には、小児救命救急センターとして指定を受け、重篤な小児救急患者への対応もを行っている。周産期医療については、総合周産期母子医療センターとして、リスクの高い妊婦に対する医療等を提供している。また、基幹型臨床研修病院として、研修医に対して研修プログラムを実施するとともに、へき地医療拠点病院として、診療所に医師を派遣し、離島の人の健康をサポートしているほか、離島中核病院に医師を派遣する役割も担っている。さらに、感染症医療については、県立病院として唯一、第一種感染症指定医療機関に指定されている。このほか、附属診療所として、8つの診療所（久高診療所、渡嘉敷診療所、座間味診療所、阿嘉診療所、渡名喜診療所、粟国診療所、北大東診療所、南大東診療所）を運営し、プライマリ・ケアを中心に地域に必要な医療を提供するとともに、相互に連携して救急医療にも対応している。今後は、現在の病院の役割を維持しつつ、地域包括ケアシステムの構築に向けた役割については、在宅療養患者の緊急時における後方病床の確保や人材育成など、病院の特性に応じて、検討する必要がある。

2 経営目標

経常収支の黒字確保	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34
経常収支(百万円) (過去分退職給付引当金を除く)	△ 317	△ 834	210	321	△ 578	△ 433	△ 266

3 経営の効率化に関する取組

(1) 収支の改善

ア 収益の確保	全体	病院																																																																															
	<ul style="list-style-type: none"> 他医療機関との連携による患者数の確保、病床利用の効率化に努めるとともに、施設基準の取得やDPC分析の強化に加え査定・返戻の縮減等、引き続き収益の確保に向けて取り組む。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①入院患者総数(人)</td> <td>148,056</td> <td>146,555</td> <td>146,878</td> <td>150,683</td> <td>150,683</td> <td>150,683</td> <td>150,683</td> </tr> <tr> <td>②外来患者総数(人)</td> <td>150,770</td> <td>149,837</td> <td>150,930</td> <td>158,356</td> <td>158,356</td> <td>158,356</td> <td>158,356</td> </tr> <tr> <td>③病床利用率(稼働病床)(%)</td> <td>97.9</td> <td>96.3</td> <td>96.5</td> <td>99.0</td> <td>99.0</td> <td>99.0</td> <td>99.0</td> </tr> <tr> <td>④在院日数(日)</td> <td>13.9</td> <td>13.7</td> <td>12.3</td> <td>12.0</td> <td>12.0</td> <td>12.0</td> <td>12.0</td> </tr> <tr> <td>⑤入院診療単価(円)</td> <td>72,000</td> <td>71,516</td> <td>77,000</td> <td>80,739</td> <td>81,000</td> <td>81,250</td> <td>81,500</td> </tr> <tr> <td>⑥外来診療単価(円)</td> <td>15,332</td> <td>16,092</td> <td>17,000</td> <td>18,500</td> <td>18,750</td> <td>19,000</td> <td>19,250</td> </tr> <tr> <td>⑦診療報酬の返戻率(%)</td> <td>2.08</td> <td>2.32</td> <td>2.00</td> <td>1.90</td> <td>1.80</td> <td>1.80</td> <td>1.80</td> </tr> <tr> <td>⑧診療報酬の査定率(%)</td> <td>0.62</td> <td>0.63</td> <td>0.60</td> <td>0.57</td> <td>0.55</td> <td>0.55</td> <td>0.55</td> </tr> <tr> <td>⑨個人負担分医療未収金の残高(千円)</td> <td>355,447</td> <td>364,512</td> <td>341,403</td> <td>336,624</td> <td>331,911</td> <td>331,911</td> <td>331,911</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 特定集中治療室管理料4から2へのランクアップによる増収(H29年8月よりランクアップ)(実施開始年度:29年度) 総合入院体制加算3から2へのランクアップによる増収(実施開始年度:30年9月より) 看護職員夜間配置加算、夜間100対1急性期看護補助体制加算の取得(H29年8月より取得)(実施開始年度:29年度) 査定・返戻の縮減、診療報酬の適正な請求(各診療科の勉強会開催)(実施開始年度:29年度) 個人未収金の発生防止(30年度も引き続き実施) 脳卒中ケアユニット入院医療管理料の取得による増収(実施開始年度:平成31年度) 脳卒中に対する超急性期治療の適応患者(脳神経外科患者)の増が見込まれている。 急性期病院として地域医療機関と連携し、新規入院患者の増、長期入院患者の退院促進に努める。(平成30年度も引き続き実施) 	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①入院患者総数(人)	148,056	146,555	146,878	150,683	150,683	150,683	150,683	②外来患者総数(人)	150,770	149,837	150,930	158,356	158,356	158,356	158,356	③病床利用率(稼働病床)(%)	97.9	96.3	96.5	99.0	99.0	99.0	99.0	④在院日数(日)	13.9	13.7	12.3	12.0	12.0	12.0	12.0	⑤入院診療単価(円)	72,000	71,516	77,000	80,739	81,000	81,250	81,500	⑥外来診療単価(円)	15,332	16,092	17,000	18,500	18,750	19,000	19,250	⑦診療報酬の返戻率(%)	2.08	2.32	2.00	1.90	1.80	1.80	1.80	⑧診療報酬の査定率(%)	0.62	0.63	0.60	0.57	0.55	0.55	0.55	⑨個人負担分医療未収金の残高(千円)	355,447	364,512	341,403	336,624	331,911	331,911
指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																																																																										
①入院患者総数(人)	148,056	146,555	146,878	150,683	150,683	150,683	150,683																																																																										
②外来患者総数(人)	150,770	149,837	150,930	158,356	158,356	158,356	158,356																																																																										
③病床利用率(稼働病床)(%)	97.9	96.3	96.5	99.0	99.0	99.0	99.0																																																																										
④在院日数(日)	13.9	13.7	12.3	12.0	12.0	12.0	12.0																																																																										
⑤入院診療単価(円)	72,000	71,516	77,000	80,739	81,000	81,250	81,500																																																																										
⑥外来診療単価(円)	15,332	16,092	17,000	18,500	18,750	19,000	19,250																																																																										
⑦診療報酬の返戻率(%)	2.08	2.32	2.00	1.90	1.80	1.80	1.80																																																																										
⑧診療報酬の査定率(%)	0.62	0.63	0.60	0.57	0.55	0.55	0.55																																																																										
⑨個人負担分医療未収金の残高(千円)	355,447	364,512	341,403	336,624	331,911	331,911	331,911																																																																										
イ 費用の縮減	全体	病院																																																																															
<ul style="list-style-type: none"> 材料費等の適正化や委託業務の見直し等を引き続き実施し、費用の縮減に取り組む。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①材料費比率(%)</td> <td>23.4</td> <td>22.3</td> <td>22.3</td> <td>21.5</td> <td>21.4</td> <td>21.3</td> <td>21.2</td> </tr> <tr> <td>②医療材料費比率(%)</td> <td>23.1</td> <td>22.1</td> <td>22.1</td> <td>21.2</td> <td>21.2</td> <td>21.1</td> <td>21.0</td> </tr> <tr> <td>③経費比率(%)</td> <td>14.1</td> <td>15.1</td> <td>14.4</td> <td>14.3</td> <td>13.7</td> <td>13.5</td> <td>13.4</td> </tr> <tr> <td>④委託比率(%)</td> <td>7.5</td> <td>7.7</td> <td>7.4</td> <td>6.8</td> <td>6.7</td> <td>6.7</td> <td>6.6</td> </tr> <tr> <td>⑤後発医薬品使用比率(%)</td> <td>77.8</td> <td>83.4</td> <td>80.0</td> <td>80.0</td> <td>80.0</td> <td>80.0</td> <td>80.0</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 後発医薬品への切り替えによる薬品費の縮減(30年度も引き続き実施) 期限切れ材料の縮減(棚卸しや定数の見直し)(30年度も引き続き実施) 委託業務の見直し、契約形態の見直しによる委託料の縮減(30年度も引き続き実施) 材料等の導入前後の状況を確認し、費用対効果について検証する(30年度も引き続き実施) 時間外の縮減(30年度も引き続き実施) 	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①材料費比率(%)	23.4	22.3	22.3	21.5	21.4	21.3	21.2	②医療材料費比率(%)	23.1	22.1	22.1	21.2	21.2	21.1	21.0	③経費比率(%)	14.1	15.1	14.4	14.3	13.7	13.5	13.4	④委託比率(%)	7.5	7.7	7.4	6.8	6.7	6.7	6.6	⑤後発医薬品使用比率(%)	77.8	83.4	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0																																
指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																																																																										
①材料費比率(%)	23.4	22.3	22.3	21.5	21.4	21.3	21.2																																																																										
②医療材料費比率(%)	23.1	22.1	22.1	21.2	21.2	21.1	21.0																																																																										
③経費比率(%)	14.1	15.1	14.4	14.3	13.7	13.5	13.4																																																																										
④委託比率(%)	7.5	7.7	7.4	6.8	6.7	6.7	6.6																																																																										
⑤後発医薬品使用比率(%)	77.8	83.4	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0																																																																										

(2) 経営の安定性

ア 資金の確保	全体	病院																																																							
	<ul style="list-style-type: none"> 収益的収支における資金を確保するため、引き続き、収益の確保・費用の縮減に取り組む。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①経常収支比率(%)</td> <td>98.0</td> <td>94.8</td> <td>99.9</td> <td>100.6</td> <td>95.7</td> <td>96.4</td> <td>97.3</td> </tr> <tr> <td>②営業収支比率(%)</td> <td>91.6</td> <td>88.2</td> <td>92.8</td> <td>91.8</td> <td>88.5</td> <td>89.4</td> <td>90.7</td> </tr> <tr> <td>③職員給与対営業収益比率(%)</td> <td>65.3</td> <td>69.1</td> <td>64.7</td> <td>67.5</td> <td>71.2</td> <td>70.8</td> <td>70.5</td> </tr> <tr> <td>④流動比率(%)</td> <td>152.2</td> <td>132.7</td> <td>161.9</td> <td>92</td> <td>114</td> <td>103.9</td> <td>254.1</td> </tr> <tr> <td>⑤投資額(百万円)</td> <td>779</td> <td>65</td> <td>268</td> <td>2604</td> <td>757</td> <td>365</td> <td>484</td> </tr> <tr> <td>⑥企業債償還額(百万円)</td> <td>981</td> <td>1,047</td> <td>906</td> <td>893</td> <td>882</td> <td>1,332</td> <td>1,498</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 未請求診療報酬レセプトの縮減(レセプト点検の見直し等)(30年度も引き続き実施) 医療機器等のランニングコストを検証し、総合的に安価な購入に努め費用の縮減に取り組む(30年度も引き続き実施) 基本的なこととして現場の意見を最大限に取り入れたうえで、業者との価格交渉に職員一丸となって取り組む(30年度も引き続き実施) 各部門と事務部(総務課施設係、経営課)の連携強化(30年度も引き続き実施) 	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①経常収支比率(%)	98.0	94.8	99.9	100.6	95.7	96.4	97.3	②営業収支比率(%)	91.6	88.2	92.8	91.8	88.5	89.4	90.7	③職員給与対営業収益比率(%)	65.3	69.1	64.7	67.5	71.2	70.8	70.5	④流動比率(%)	152.2	132.7	161.9	92	114	103.9	254.1	⑤投資額(百万円)	779	65	268	2604	757	365	484	⑥企業債償還額(百万円)	981	1,047	906	893	882	1,332
指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																																																		
①経常収支比率(%)	98.0	94.8	99.9	100.6	95.7	96.4	97.3																																																		
②営業収支比率(%)	91.6	88.2	92.8	91.8	88.5	89.4	90.7																																																		
③職員給与対営業収益比率(%)	65.3	69.1	64.7	67.5	71.2	70.8	70.5																																																		
④流動比率(%)	152.2	132.7	161.9	92	114	103.9	254.1																																																		
⑤投資額(百万円)	779	65	268	2604	757	365	484																																																		
⑥企業債償還額(百万円)	981	1,047	906	893	882	1,332	1,498																																																		

イ 人材体制の安定の確保と	全体	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県立病院の役割を踏まえ、医療提供体制の確保と経営の影響等を総合的に考慮し、医療制度改革の動向を注視しつつ、事業運営に必要な人員体制を整備する。 ○ 他の医療機関との協力連携の強化や県内外での説明会の実施、研修制度の充実等によって医師・看護師等の安定確保を行う。 ○ 医療の適切かつ安定的な提供と経営の効率化に資する人材を育成するため、各種研修等を推進し職員の資質及び能力の向上を図る。特に事務部門においては、病院運営の知識に優れた人材を育成し、専門性の強化を図る。 	病院	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①交代制実施部署数</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②実習生受入人数</td> <td>1,232</td> <td>808</td> <td>800</td> <td>812</td> <td>812</td> <td>812</td> <td>812</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○ 医師・看護師等の勤務負担軽減及び処遇改善を図り、研修等を推進し職員の資質及び能力の向上を図る(30年度も引き続き実施) 4西(H27)・4小・6西(H29) 6西・5東・5小・ICU(H29.10試行中)産科・MFCU(H30.2試行中) ○ 2交代制の拡充や看護補助員の夜間配置による看護師の負担軽減に引き続き取り組む(30年度も引き続き実施) ○ 各職種の実習生の受け入れ体制の充実(30年度も引き続き実施) ○ 県立病院課による職員研修計画に基づき継続して職員の研修に取り組む(30年度も引き続き実施) ○ 施設基準や施設認定に係る研修への積極的かつ継続的な参加に取り組む(30年度も引き続き実施) 	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①交代制実施部署数	1	3	3	6				②実習生受入人数	1,232	808	800	812	812	812	812	③								④																																																																																																																															
	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																																																																																																																																																												
①交代制実施部署数	1	3	3	6																																																																																																																																																																
②実習生受入人数	1,232	808	800	812	812	812	812																																																																																																																																																													
③																																																																																																																																																																				
④																																																																																																																																																																				
ウ 効果的・効率的な設備投資	全体	<ul style="list-style-type: none"> ○ 医療ニーズや施設状況の把握、企業債の償還シミュレーション等に基づいた経営的な視点での検討を前提に、選択と集中によって戦略的な経営を展開し、収益拡大に向け効果的・効率的な設備投資を行う。 ○ 医療機器(情報システム含む)の調達にあたっては、他病院や県立病院間の調達情報の収集・分析、県立病院間での一括調達の推進、競争入札による競争性を確保する等の取組により調達価格の低廉化を図る。 ○ 施設整備については、沖縄県立病院施設等総合管理計画(現在策定中)に基づき、ファシリティマネジメントを活用した中長期的な改修・更新を行う。 	病院	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①光熱水費(電気・水道・A重油等)</td> <td>303,828千円</td> <td>341,790千円</td> <td>375,970千円</td> <td>375,970千円</td> <td>375,970千円</td> <td>350,000千円</td> <td>350,000千円</td> </tr> <tr> <td>②医療機器整備件数(件)</td> <td>35</td> <td>15</td> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○ 取組内容を記載 ○ ES事業を導入することにより、光熱水費等の圧縮を図る。(実施開始年度:H33年度) ○ VPPPプログラムを一括して導入することにより、医療機器の調達が可能になる。(実施開始年度:H30年度) <p style="text-align: right;">単位:千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電子カルテ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1,500,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他医療機器</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>955,040</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>放射線治療用CT</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>211,032</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>診断用CT</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>248,400</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>CR/FPDシステム</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>56,160</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他医療機器</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>多目的X線TV(9号室)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>42,120</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般撮影装置(5号室)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>40,500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般撮影装置(1号室)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>40,500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他医療機器</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>200,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>多目的X線TV(8号室)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>42,120</td> </tr> <tr> <td>循環器造影装置</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>250,000</td> </tr> <tr> <td>乳房撮影装置</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>50,000</td> </tr> <tr> <td>その他医療機器</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100,000</td> </tr> </tbody> </table>	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①光熱水費(電気・水道・A重油等)	303,828千円	341,790千円	375,970千円	375,970千円	375,970千円	350,000千円	350,000千円	②医療機器整備件数(件)	35	15	6					③								④								指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	電子カルテ				1,500,000				その他医療機器				955,040				放射線治療用CT					211,032			診断用CT					248,400			CR/FPDシステム					56,160			その他医療機器					100,000			多目的X線TV(9号室)						42,120		一般撮影装置(5号室)						40,500		一般撮影装置(1号室)						40,500		その他医療機器						200,000		多目的X線TV(8号室)							42,120	循環器造影装置							250,000	乳房撮影装置							50,000	その他医療機器							100,000
	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																																																																																																																																																												
①光熱水費(電気・水道・A重油等)	303,828千円	341,790千円	375,970千円	375,970千円	375,970千円	350,000千円	350,000千円																																																																																																																																																													
②医療機器整備件数(件)	35	15	6																																																																																																																																																																	
③																																																																																																																																																																				
④																																																																																																																																																																				
指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																																																																																																																																																													
電子カルテ				1,500,000																																																																																																																																																																
その他医療機器				955,040																																																																																																																																																																
放射線治療用CT					211,032																																																																																																																																																															
診断用CT					248,400																																																																																																																																																															
CR/FPDシステム					56,160																																																																																																																																																															
その他医療機器					100,000																																																																																																																																																															
多目的X線TV(9号室)						42,120																																																																																																																																																														
一般撮影装置(5号室)						40,500																																																																																																																																																														
一般撮影装置(1号室)						40,500																																																																																																																																																														
その他医療機器						200,000																																																																																																																																																														
多目的X線TV(8号室)							42,120																																																																																																																																																													
循環器造影装置							250,000																																																																																																																																																													
乳房撮影装置							50,000																																																																																																																																																													
その他医療機器							100,000																																																																																																																																																													

4 役割を果たしていくための取組

(1) 救急医療

全体	病院																								
<ul style="list-style-type: none"> 24時間365日、救急患者を受け入れるための環境の整備 市町村及び地域医療機関等との更なる連携の強化 北部及び離島での安定した医療スタッフの確保 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①救急入院患者延数(人)</td> <td>5,898</td> <td>4,380</td> <td>6,300</td> <td>6,300</td> <td>6,300</td> <td>6,300</td> <td>6,300</td> </tr> <tr> <td>②救急車搬入数(件)</td> <td>4,659</td> <td>4,694</td> <td>4,760</td> <td>5,040</td> <td>5,040</td> <td>5,040</td> <td>5,040</td> </tr> </tbody> </table>	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①救急入院患者延数(人)	5,898	4,380	6,300	6,300	6,300	6,300	6,300	②救急車搬入数(件)	4,659	4,694	4,760	5,040	5,040	5,040	5,040
	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																	
	①救急入院患者延数(人)	5,898	4,380	6,300	6,300	6,300	6,300	6,300																	
②救急車搬入数(件)	4,659	4,694	4,760	5,040	5,040	5,040	5,040																		
<ul style="list-style-type: none"> 救命救急センター及び小児救命救急センターの維持及び充実していくための整備(30年度も引き続き実施) ICUと連携した救急医療の充実(30年度も引き続き実施) 軽症患者へのかかりつけ医の推進(市町村と連携した啓蒙活動)(30年度も引き続き実施) 地域医療機関、介護施設等との顔のみえる連携の強化(30年度も引き続き実施) 																									

(2) 小児・周産期医療

全体	病院																																																
<ul style="list-style-type: none"> 安定した小児医療提供体制の整備と機能の充実 周産期医療の中核となる総合・地域周産期母子医療センターの充実 専門医師、看護師、助産師等の安定的な人材の確保 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①分娩件数(件)</td> <td>422</td> <td>332</td> <td>444</td> <td>420</td> <td>420</td> <td>420</td> <td>420</td> </tr> <tr> <td>うち異常分娩件数(件)</td> <td>248</td> <td>187</td> <td>260</td> <td>240</td> <td>240</td> <td>240</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>②NICU入院患者延数(人)</td> <td>6,553</td> <td>6,560</td> <td>6,364</td> <td>6,500</td> <td>6,500</td> <td>6,500</td> <td>6,500</td> </tr> <tr> <td>③小児入院患者延数(人)</td> <td>30,802</td> <td>31,084</td> <td>31,140</td> <td>32,100</td> <td>32,100</td> <td>32,100</td> <td>32,100</td> </tr> <tr> <td>④PICU入院患者延数(人)</td> <td>1,991</td> <td>2,197</td> <td>2,244</td> <td>2,300</td> <td>2,300</td> <td>2,300</td> <td>2,300</td> </tr> </tbody> </table>	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①分娩件数(件)	422	332	444	420	420	420	420	うち異常分娩件数(件)	248	187	260	240	240	240	240	②NICU入院患者延数(人)	6,553	6,560	6,364	6,500	6,500	6,500	6,500	③小児入院患者延数(人)	30,802	31,084	31,140	32,100	32,100	32,100	32,100	④PICU入院患者延数(人)	1,991	2,197	2,244	2,300	2,300	2,300	2,300
	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																																									
	①分娩件数(件)	422	332	444	420	420	420	420																																									
	うち異常分娩件数(件)	248	187	260	240	240	240	240																																									
	②NICU入院患者延数(人)	6,553	6,560	6,364	6,500	6,500	6,500	6,500																																									
③小児入院患者延数(人)	30,802	31,084	31,140	32,100	32,100	32,100	32,100																																										
④PICU入院患者延数(人)	1,991	2,197	2,244	2,300	2,300	2,300	2,300																																										
<ul style="list-style-type: none"> 総合周産期母子医療センターの充実を図るための医療スタッフの確保(30年度も引き続き実施) 小児集中治療室の充実(施設基準の早期取得)(実施開始年度:32年度) 小児病棟(4・5階小児、5階西)の効率的な運用(30年度も引き続き実施) 小児救命救急センターとの連携(30年度も引き続き実施) 																																																	

(3) 離島・へき地医療

全体	病院																
<ul style="list-style-type: none"> 県内外の大学や医療機関と連携による医師の確保 島しょ看護に係る研修の実施 代診・代看等による勤務スタッフの研修参加等の支援 附属診療所における医療提供体制を維持するための市町村との更なる連携・協力 設備や医療機器等の整備 新八重山病院の新築移転による医療提供体制の整備充実 中部病院及び南部医療センター・こども医療センターからの北部及び離島への応援体制の充実 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①附属診療所の患者延べ数(人)</td> <td>26,848</td> <td>27,074</td> <td>25,604</td> <td>27,084</td> <td>26,862</td> <td>26,862</td> <td>26,862</td> </tr> </tbody> </table>	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①附属診療所の患者延べ数(人)	26,848	27,074	25,604	27,084	26,862	26,862	26,862
	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34									
	①附属診療所の患者延べ数(人)	26,848	27,074	25,604	27,084	26,862	26,862	26,862									
	<ul style="list-style-type: none"> 代診、代看等によるスタッフの研修参加等の支援に取り組む(30年度も引き続き実施) 設備や医療機器等の整備(30年度も引き続き実施) 在宅訪問診療、往診の充実、市町村との連携(30年度も引き続き実施) 診療報酬(査定・返戻の対策による)の確保に取り組む(30年度も引き続き実施) 診療所事務職員の勉強会に取り組む(30年度も引き続き実施) 																

(4) 教育研修

全体	病院																																																																
<ul style="list-style-type: none"> 研修医の安定的な確保・育成 指導医や専門医等の指導スタッフの確保・育成 教育研修プログラムの整備充実 教育研修に必要な設備・機能の充実 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①研修医の受入数(人)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>初期研修</td> <td>14</td> <td>23</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>後期研修</td> <td>21</td> <td>18</td> <td>21</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>9</td> <td>96</td> <td>3</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>②看護実習の受入数(人)</td> <td>1,149</td> <td>586</td> <td>700</td> <td>700</td> <td>700</td> <td>700</td> <td>700</td> </tr> <tr> <td>③地域の医療機関からの看護師、助産師の研修受入数(人)</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>④コメディカルの研修受入数(人)</td> <td>39</td> <td>82</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table>	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①研修医の受入数(人)								初期研修	14	23	25	30	30	30	30	後期研修	21	18	21	20	20	20	20	その他	9	96	3	10	10	10	10	②看護実習の受入数(人)	1,149	586	700	700	700	700	700	③地域の医療機関からの看護師、助産師の研修受入数(人)	0	3	1	2	2	2	2	④コメディカルの研修受入数(人)	39	82	50	50	50	50	50
	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																																																									
	①研修医の受入数(人)																																																																
	初期研修	14	23	25	30	30	30	30																																																									
	後期研修	21	18	21	20	20	20	20																																																									
その他	9	96	3	10	10	10	10																																																										
②看護実習の受入数(人)	1,149	586	700	700	700	700	700																																																										
③地域の医療機関からの看護師、助産師の研修受入数(人)	0	3	1	2	2	2	2																																																										
④コメディカルの研修受入数(人)	39	82	50	50	50	50	50																																																										
<ul style="list-style-type: none"> 指導医、専門医の確保及び育成、学会や研修出席の充実(研修費の確保)(30年度も引き続き実施) 研修プログラムの充実(30年度も引き続き実施) 研修医の安定的な確保(ホームページ等の整備)(30年度も引き続き実施) 																																																																	

沖縄県立病院経営計画 実施計画

1 県立病院の役割

宮古病院は、一般医療はもとより、救急医療、精神医療において、宮古医療圏の中核的な病院となっており、高度医療、重症精神障害者医療などの特殊医療、不採算医療、医療従事者への研修などの役割を担っている。

また、宮古医療圏が離島であるという地理的条件を踏まえ、可能な限り地域完結医療の提供体制の整備に努めており、周辺離島における救急搬送受け入れもを行っている。

周産期医療については、平成26年4月に、地域周産期母子医療センターに認定され、宮古医療圏における周産期医療の中核となっている。

また、平成27年4月には、地域がん診療病院として指定され、がん診療の均てん化を図っている。

さらに、基幹型臨床研修病院として、平成28年4月から研修医に対して研修プログラムを実施している。

このほか、附属診療所として、多良間診療所を運営し、プライマリ・ケアを中心に地域に必要な医療を提供するとともに、相互に連携して救急医療にも対応している。

今後は、現在の病院の役割を維持しつつ、地域包括ケアシステムの構築に向けた役割についても、検討する必要がある。

2 経営目標

経常収支の黒字確保	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34
経常収支(百万円) (過去分退職給付引当金を除く)	△ 19	△ 14	32	130	△ 123	15	47

3 経営の効率化に関する取組

(1) 収支の改善

	全体	病院							
		指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34
ア 収益の確保	○ 他医療機関との連携による患者数の確保、病床利用の効率化に努めるとともに、施設基準の取得やDPC分析の強化に加え査定・返戻の縮減等、引き続き収益の確保に向けて取り組む。	①入院患者総数(人)	87,033	90,606	90,767	87,379	88,651	90,666	91,673
		②外来患者総数(人)	123,380	122,582	119,740	120,800	120,800	120,800	120,800
		③病床利用率(稼働病床)(%)	86.4	92.2	90.1	86.5	88.0	90.0	91.0
		④在院日数(日)	16.2	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
		⑤入院診療単価(円)	40,637	41,644	43,066	44,845	44,850	45,401	45,946
		⑥外来診療単価(円)	11,044	10,898	11,165	12,304	12,304	12,304	12,304
		⑦診療報酬の返戻率(%)	0.69	0.50	0.69	0.63	1.00	0.63	1.00
		⑧診療報酬の査定率(%)	0.27	0.41	0.55	0.50	0.80	0.45	0.80
		⑨個人負担分医療未収金の残高(千円)	267,441	255,378	254,101	252,830	251,566	250,307	249,054
				<ul style="list-style-type: none"> ○ 医師を対象とした院長ヒアリングで担当診療科の収益、患者数の実績、今年度の目標値及び診療報酬の算定漏れ等の課題を示す。(実施開始年度: 18年度) ○ 病床稼働率と関係部門による出来高算定項目の実施件数、算定実績、目標達成率の週間報告の実施(ゴールチェック)(実施開始年度: 21年度) ○ 紹介患者を増やしてもらうよう働きかける目的で地域医療機関を訪問する。(実施開始年度: 25年度) ○ 査定、返戻の原因を分析した結果を基に対策を立て縮減に努める。(実施開始年度: 25年度) ○ 新規の施設基準取得に向けて院内体制の整備を提言する。(実施開始年度: 29年度) ○ 電子カルテのトップページに30分毎の空床状況を表示し、効率的なベッドコントロールができるようにする。(実施開始年度: 29年度) ○ 指導管理料・算定漏れを防ぐため、医師事務作業補助者と算定担当で医師をバックアップする。(実施開始年度: 29年度) ○ 算定漏れが発生している出来高算定項目について関係職種でプロジェクトチームを立ち上げ、算定フローなどの整備を行う。(実施開始年度: 29年度) ○ 経営対策会議を開催し、管理者、診療科部長、医長と共に経営状況を確認し、現状の課題と対策案について考える。(実施開始年度: 29年度) ○ 診療内容の分析、適正化及び出来高差比較による適正コーディングのチェックを毎月行う。(実施開始年度: 29年度) ○ 患者へのかかりつけ医制度の普及啓発。(実施開始年度: 30年度) ○ 早期退院を促進し地域でのケアに移行することで逆紹介を増やす。取組みとして返書率100%、逆紹介率を70%を目標とする。(実施開始年度: 30年度) ○ 各診療科医師・研修医を対象にDPCの勉強会を行う。(実施開始年度: 30年度) ○ メディアの活用、健康講座の実施、ホームページへの掲載などのPR活動を行い、新入院患者数を増やす。(実施開始年度: 30年度) ○ 看護必要度の基準が過小評価とならないよう医師と連携して適正な看護評価を行い、急性期一般入院料4を維持する。(実施開始年度: 30年度) ○ 精神科病棟に可動式の壁を設置し、入院患者の男女比にあわせて壁を移動させることで可能な限り空床をなくす。(実施開始年度: 30年度) ○ 地域医療機関から要望のある検体検査の受託を推進する。検査対象項目や申請方法、検体の取扱いなどの調整および周知を行う。(実施開始年度: 30年度) ○ 地域の医療機関との話し合いの場を設けて、それぞれの施設の患者の受入体制を加味しつつ地域医療構想をさらに発展させて宮古医療圏域における役割を再分担する。(実施開始年度: 31年度) ○ 医療情報連携システムを活用した処方、検査結果、読影レポートなどの情報を地域医療機関で共有して、スムーズな診療につなげることで連携を強化する。(実施開始年度: 32年度) ○ 地域医療支援病院の承認申請(実施開始年度: 33年度) 					

イ 費用の縮減	全体																																																
	<p>○ 材料費等の適正化や委託業務の見直し等を引き続き実施し、費用の縮減に取り組む。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①材料費比率(%)</td> <td>20.4</td> <td>20.0</td> <td>20.9</td> <td>19.1</td> <td>18.9</td> <td>18.5</td> <td>18.2</td> </tr> <tr> <td>②医療材料費比率(%)</td> <td>19.2</td> <td>18.7</td> <td>19.7</td> <td>19</td> <td>18.8</td> <td>18.3</td> <td>18.1</td> </tr> <tr> <td>③経費比率(%)</td> <td>17.4</td> <td>17.2</td> <td>17.1</td> <td>18.4</td> <td>18.1</td> <td>17.7</td> <td>17.4</td> </tr> <tr> <td>④委託比率(%)</td> <td>10.7</td> <td>10.3</td> <td>10.2</td> <td>11.1</td> <td>11.0</td> <td>10.7</td> <td>10.5</td> </tr> <tr> <td>⑤後発医薬品使用比率(%)</td> <td>76.0</td> <td>79.8</td> <td>85.0</td> <td>85.0</td> <td>85.0</td> <td>85.0</td> <td>85.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>○未収金対策強化月間を年1回実施し、集中的な回収・督促を行う。(実施開始年度:3年度) ○未収金発生防止として、患者へ限度額認定証の確認、各種公費制度を推進する。発生してしまった未収については現年度での早期回収に努め不納欠損金の発生を抑制する。そのため、保証人への履行協力依頼を積極的に行う。(実施開始年度:17年度) ○材料費縮減プロジェクトに基づき引き続き価格交渉を行っていく。(実施開始年度:27年度) ○院内の運用を見直して使用量を適切に管理して使用期限切れを縮減する。また、中央倉庫だけでなく現場の在庫管理も徹底して行う。(実施開始年度:27年度) ○後発医薬品使用率の目標値を85%に設定し、DPC/PDPSにおける包括範囲におけるコスト削減を図る。(実施開始年度:28年度) ○経費の支出状況を院内掲示し、全職員のコスト意識を高める。(実施開始年度:29年度) ○重油の使用量が多くなる冬暖房を、使用頻度が低い箇所は切る等して削減に努める。(実施開始年度:29年度) ○エアコンの温度設定を院内で取り決め、節電の強化に努める。(実施開始年度:29年度) ○悪質な滞納者には弁護士委託を行う。(実施開始年度:29年度) ○旅費は、継続して早割等の格安旅券の購入を促す。他医療機関との連携に関わるものについては、可能な範囲内で協力依頼していく。(実施開始年度:29年度) ○報償費の縮減のため県立病院医師の業務応援で調整可能であればそちらを優先する。また、費用対効果を検討して必要な応援の取捨を行う。(実施開始年度:30年度) ○賃借料・修繕費について、単価契約に関する契約内容を見直す。(特に在宅酸素)(実施開始年度:30年度) ○委託料については、給食等の委託内容の見直しを行う。(実施開始年度:30年度) ○診療報酬の保留件数の縮減に努め早期請求を行う。(実施開始年度:30年度) ○医師等の変形労働制の導入によって時間外勤務の縮減を図る。(実施開始年度:30年度) ○時間外勤務時のカルテ記載がないと時間外を認めないことをルールとして周知し、2日以内に申請書を提出させて管理者がチェックする体制を構築する。(医師)(実施開始年度:30年度) ○時間外勤務の事前申請を徹底するとともに、患者がいない時間を考慮して時間差出勤を推進する。小児科で5時以降の予約枠を是正し、時間外縮減を図る。(看護師)(実施開始年度:30年度) ○診療材料の在庫管理システムを導入して適正管理に努める。(実施開始年度:31年度) ○不要不急の時間外勤務の縮減を図るため、組織全体で「事前命令」の徹底に取り組む。(実施開始年度:30年度) ○地方公法改正による費用の増加に対し嘱託職員(非常勤職員)の委託化を含めて検討する。(実施開始年度:31年度)</p>	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①材料費比率(%)	20.4	20.0	20.9	19.1	18.9	18.5	18.2	②医療材料費比率(%)	19.2	18.7	19.7	19	18.8	18.3	18.1	③経費比率(%)	17.4	17.2	17.1	18.4	18.1	17.7	17.4	④委託比率(%)	10.7	10.3	10.2	11.1	11.0	10.7	10.5	⑤後発医薬品使用比率(%)	76.0	79.8	85.0	85.0	85.0	85.0
指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																																										
①材料費比率(%)	20.4	20.0	20.9	19.1	18.9	18.5	18.2																																										
②医療材料費比率(%)	19.2	18.7	19.7	19	18.8	18.3	18.1																																										
③経費比率(%)	17.4	17.2	17.1	18.4	18.1	17.7	17.4																																										
④委託比率(%)	10.7	10.3	10.2	11.1	11.0	10.7	10.5																																										
⑤後発医薬品使用比率(%)	76.0	79.8	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0																																										

(2) 経営の安定性

ア 資金の確保	全体	病院																																																							
	<p>○ 収益的収支における資金を確保するため、引き続き、収益の確保・費用の縮減に取り組む。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①経常収支比率(%)</td> <td>99.7</td> <td>99.8</td> <td>99.1</td> <td>100.6</td> <td>97.0</td> <td>98.9</td> <td>99.4</td> </tr> <tr> <td>②医業収支比率(%)</td> <td>83.6</td> <td>84.0</td> <td>84.0</td> <td>88.5</td> <td>85.2</td> <td>87.3</td> <td>87.4</td> </tr> <tr> <td>③職員給与対医業収益比率(%)</td> <td>69.6</td> <td>70.8</td> <td>72.2</td> <td>68.2</td> <td>71.2</td> <td>69.5</td> <td>68.7</td> </tr> <tr> <td>④流動比率(%)</td> <td>122.3</td> <td>110.5</td> <td>178.6</td> <td>81.1</td> <td>136.5</td> <td>83.7</td> <td>464.8</td> </tr> <tr> <td>⑤投資額(百万円)</td> <td>35</td> <td>46</td> <td>101</td> <td>1,251</td> <td>150</td> <td>830</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>⑥企業債償還額(百万円)</td> <td>369</td> <td>391</td> <td>183</td> <td>188</td> <td>205</td> <td>512</td> <td>545</td> </tr> </tbody> </table> <p>○国・県の補助金の申請し、資金確保に努める。(実施開始年度:16年度) ○発生した未収の現年度での早期回収に努めることで不納欠損金の発生を抑制する。そのため、高額貸付制度、各種公費制度を患者に推進する。また、保証人への履行協力依頼も積極的に行う。(実施開始年度:18年度) ○病院全体で年に一度、未収金対策強化月間を実施し、集中的な回収・督促に努める。(実施開始年度:18年度)</p>	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①経常収支比率(%)	99.7	99.8	99.1	100.6	97.0	98.9	99.4	②医業収支比率(%)	83.6	84.0	84.0	88.5	85.2	87.3	87.4	③職員給与対医業収益比率(%)	69.6	70.8	72.2	68.2	71.2	69.5	68.7	④流動比率(%)	122.3	110.5	178.6	81.1	136.5	83.7	464.8	⑤投資額(百万円)	35	46	101	1,251	150	830	63	⑥企業債償還額(百万円)	369	391	183	188	205	512
指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																																																		
①経常収支比率(%)	99.7	99.8	99.1	100.6	97.0	98.9	99.4																																																		
②医業収支比率(%)	83.6	84.0	84.0	88.5	85.2	87.3	87.4																																																		
③職員給与対医業収益比率(%)	69.6	70.8	72.2	68.2	71.2	69.5	68.7																																																		
④流動比率(%)	122.3	110.5	178.6	81.1	136.5	83.7	464.8																																																		
⑤投資額(百万円)	35	46	101	1,251	150	830	63																																																		
⑥企業債償還額(百万円)	369	391	183	188	205	512	545																																																		

イ 人材体制の安定の確保と	全体																								
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県立病院の役割を踏まえ、医療提供体制の確保と経営の影響等を総合的に考慮し、医療制度改革の動向を注視しつつ、事業運営に必要な人材体制を整備する。 ○ 他の医療機関との協力連携の強化や県内外での説明会の実施、研修制度の実施、研修制度の充実等によって医師・看護師等の安定確保を行う。 ○ 医療の適切かつ安定的な提供と経営の効率化に資する人材を育成するため、各種研修等を推進し職員の資質及び能力の向上を図る。特に事務部門においては、病院運営の知識に優れた人材を育成し、専門性の強化を図る。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①看護説明会の開催回数</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>②研修情報提供イベント参加回数</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>○説明会の参加やイベントを開催し宮古病院のアピールを行う。(実施開始年度:21年度) ○医師および看護師、医療技術員と連携して、研修環境を整える。(実施開始年度:24年度) ○県内外での説明会の実施、研修制度の充実を図り病院としてのアピールポイントにする。(実施開始年度:25年度) ○看護師の2交代制勤務を導入し休日を増やすことで職員満足度を高める。(実施開始年度:30年度) ○病院経営に精通した人材の確保のため経営分析に病院事務局採用の事務員を配置し、複数年度にまたがって業務を担当することで病院経営の知識等を習得する。これまでより医療現場に踏み込んだ提案を実施する。(実施開始年度:31年度)</p>	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①看護説明会の開催回数	3	3	1	3	3	3	3	②研修情報提供イベント参加回数	4	4	4	4	4	4
指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																		
①看護説明会の開催回数	3	3	1	3	3	3	3																		
②研修情報提供イベント参加回数	4	4	4	4	4	4	4																		

ウ 効果的・率な設備投資	全体	病院																																																																																																																																															
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 医療ニーズや施設状況の把握、企業債の償還シミュレーション等に基づいた経営的な視点での検討を前提に、選択と集中によって戦略的な経営を展開し、収益拡大に向け効果的・効率的な設備投資を行う。 ○ 医療機器(情報システム含む)の調達にあたっては、他病院や県立病院間の調達情報の収集・分析、県立病院間での一括調達の推進、競争入札による競争性を確保する等の取組により調達価格の低廉化を図る。 ○ 施設整備については、沖縄県立病院施設等総合管理計画(現在策定中)に基づき、ファシリティマネジメントを活用した中長期的な改修・更新を行う。 	<p style="text-align: right;">単位:百万円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>その他医療機器</td> <td></td> <td></td> <td>101</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>院内医療情報システム</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>819</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>血管造影装置システム</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>198</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般撮影システム</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>58</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>電子内視鏡システム</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>28</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原価計算システム</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>11</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他医療機器</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>138</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>X線透視装置(更新)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>50</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>乳房撮影装置(更新)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>50</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他医療機器</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>50</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>CT(更新)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>140</td> <td></td> </tr> <tr> <td>MRI(更新)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>140</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他医療機器</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>院内保育所・第2医局等増築</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>移動用外科用イメージ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>パノラマ装置</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>その他医療機器</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table> <p>○医療機器購入の判断基準として、「導入すれば高い点数を算定できるようになる」等、収益増に繋がるものを優先的に購入する。(実施開始年度:30年度) ○医事課や経営分析担当と連携し、費用対効果を考慮した優先順位にする。(実施開始年度:30年度) ○現在、院内に存在する医療機器と、これから購入するものを台帳管理して将来に渡る購入計画を作成する。作成した台帳を管理し、しっかり引継ぎを行う。(実施開始年度:30年度) ○他県立病院、病院事務局との連携を強化する。(実施開始年度:31年度) ○電子カルテや高額な設備を導入する際に、県立全体で入札をおこなうほか、他院との共同購入により購入費用を抑える。(実施開始年度:32年度)</p>	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	その他医療機器			101					院内医療情報システム				819				血管造影装置システム				198				一般撮影システム				58				電子内視鏡システム				28				原価計算システム				11				その他医療機器				138				X線透視装置(更新)					50			乳房撮影装置(更新)					50			その他医療機器					50			CT(更新)						140		MRI(更新)						140		その他医療機器						50		院内保育所・第2医局等増築						500		移動用外科用イメージ							8	パノラマ装置							5	その他医療機器						
指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																																																																																																																																										
その他医療機器			101																																																																																																																																														
院内医療情報システム				819																																																																																																																																													
血管造影装置システム				198																																																																																																																																													
一般撮影システム				58																																																																																																																																													
電子内視鏡システム				28																																																																																																																																													
原価計算システム				11																																																																																																																																													
その他医療機器				138																																																																																																																																													
X線透視装置(更新)					50																																																																																																																																												
乳房撮影装置(更新)					50																																																																																																																																												
その他医療機器					50																																																																																																																																												
CT(更新)						140																																																																																																																																											
MRI(更新)						140																																																																																																																																											
その他医療機器						50																																																																																																																																											
院内保育所・第2医局等増築						500																																																																																																																																											
移動用外科用イメージ							8																																																																																																																																										
パノラマ装置							5																																																																																																																																										
その他医療機器							50																																																																																																																																										

4 役割を果たしていくための取組

(1) 救急医療

全体	病院																								
<ul style="list-style-type: none"> ○ 24時間365日、救急患者を受け入れるための環境の整備 ○ 市町村及び地域医療機関等との更なる連携の強化 ○ 北部及び離島での安定した医療スタッフの確保 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①救急入院患者延数(人)</td> <td>2,973</td> <td>3,054</td> <td>3,102</td> <td>3,043</td> <td>3,043</td> <td>3,043</td> <td>3,043</td> </tr> <tr> <td>②救急車搬入人数(件)</td> <td>2,349</td> <td>2,418</td> <td>2,367</td> <td>2,378</td> <td>2,378</td> <td>2,378</td> <td>2,378</td> </tr> </tbody> </table> <p>○地域医療機関への積極的訪問活動による診療連携推進(実施開始年度:26年度) ○宮古群島関係機関とともに地域医療・福祉向上を目的とする地域連携協議会への参加(実施開始年度:26年度) ○広報活動による当院の医療体制の周知(実施開始年度:26年度) ○全診療科の医師が救急当番に入り救急診療の応援体制につく。(実施開始年度:26年度) ○宮古島市休日夜間救急診療所で受け入れ可能な患者には、診療所での受診を勧奨する。(実施開始年度:28年度) ○家庭医療・地域診療科による宮古島における在宅医療の連携(実施開始年度:28年度) ○宮古圏域市村との意見交換会への参加(実施開始年度:29年度) ○開業医の当院に対するニーズの把握(実施開始年度:30年度)</p>	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①救急入院患者延数(人)	2,973	3,054	3,102	3,043	3,043	3,043	3,043	②救急車搬入人数(件)	2,349	2,418	2,367	2,378	2,378	2,378	2,378
	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																	
	①救急入院患者延数(人)	2,973	3,054	3,102	3,043	3,043	3,043	3,043																	
②救急車搬入人数(件)	2,349	2,418	2,367	2,378	2,378	2,378	2,378																		

(2) 小児・産科医療

全体	病院																																																
<ul style="list-style-type: none"> ○ 安定した小児医療提供体制の整備と機能の充実 ○ 産科医療の中核となる総合・地域産科母子医療センターの充実 ○ 専門医師、看護師、助産師等の安定的な人材の確保 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①分娩件数(件)</td> <td>319</td> <td>290</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> </tr> <tr> <td>うち異常分娩件数(件)</td> <td>164</td> <td>149</td> <td>132</td> <td>130</td> <td>130</td> <td>130</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>②NICU入院患者延数(人)</td> <td>354</td> <td>994</td> <td>915</td> <td>920</td> <td>920</td> <td>920</td> <td>920</td> </tr> <tr> <td>③小児患者延数(人)</td> <td>18,510</td> <td>18,282</td> <td>17,289</td> <td>18,000</td> <td>18,000</td> <td>18,000</td> <td>18,000</td> </tr> <tr> <td>④PICU入院患者延数(人)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>○南部医療センターから派遣で維持している中で、医師確保が危ぶまれているが、今後も中部病院・南部医療センター・琉球大学付属病院小児科と応援体制作りにより努力していく。(実施開始年度:26年度) ○看護大学生の実習受け入れの継続とそれに伴う教育体制の整備(実施開始年度:26年度) ○地域の産科医院(奥平産婦人科医院)と医療の役割分担を行い、当院では異常分娩の搬送を受け入れ、NICU管理の他、状態が安定すればGCUで引き続きケアする体制を維持していく。(実施開始年度:29年度) ○夜間の妊産婦緊急搬送の受け入れ体制の強化を図る目的で奥平産婦人科医院から出産予定日の患者情報を提供してもらう方向で調整していく。(実施開始年度:29年度)</p>	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①分娩件数(件)	319	290	260	260	260	260	260	うち異常分娩件数(件)	164	149	132	130	130	130	130	②NICU入院患者延数(人)	354	994	915	920	920	920	920	③小児患者延数(人)	18,510	18,282	17,289	18,000	18,000	18,000	18,000	④PICU入院患者延数(人)	-	-	-	-	-	-	-
	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																																									
	①分娩件数(件)	319	290	260	260	260	260	260																																									
うち異常分娩件数(件)	164	149	132	130	130	130	130																																										
②NICU入院患者延数(人)	354	994	915	920	920	920	920																																										
③小児患者延数(人)	18,510	18,282	17,289	18,000	18,000	18,000	18,000																																										
④PICU入院患者延数(人)	-	-	-	-	-	-	-																																										

(3) 離島・へき地医療

全体	病院																
<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内外の大学や医療機関と連携による医師の確保 ○ 島しょ看護に係る研修の実施 ○ 代診・代看等による勤務スタッフの研修参加等の支援 ○ 附属診療所における医療提供体制を維持するための市町村との更なる連携・協力 ○ 中部病院及び南部医療センター・こども医療センターからの北部及び離島への応援体制の充実 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①附属診療所の患者延べ数(人)</td> <td>5,400</td> <td>5,670</td> <td>5,481</td> <td>5,500</td> <td>5,500</td> <td>5,500</td> <td>5,500</td> </tr> </tbody> </table> <p>○医師派遣元の琉球大学附属病院、福岡大学病院、宮崎大学医学部附属病院、中部病院、南部医療センター、その他(中頭病院、豊見城中央病院)との連携を強化し、専門医体制を強化していく。(実施開始年度:26年度) ○県立病院間の内科医会、小児科医会、外科医会、救急医会にて各県立病院の医師配置の調整を図っていく。(実施開始年度:26年度) ○多良間診療所の代診は、宮古病院内科医師(主に総合診療科)でほぼカバー出来ているおり引き続き支援していく。(実施開始年度:26年度) ○看護師の代看に関しては「しまナース」の協力と宮古病院の看護師が継続して支援をしていく。今後も多良間診療所の看護研修を計画していく。(実施開始年度:26年度) ○多良間における定期的な巡回診療の継続(精神科・産婦人科・整形外科)と予防接種の応援業務(実施開始年度:26年度) ○医師数が少ない診療科(小児科・精神科・消化器内科・循環器内科・外科・呼吸器内科)に関してはホームページを通して募集を掛け、そのためのホームページの内容を充実させる。(実施開始年度:29年度)</p>	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①附属診療所の患者延べ数(人)	5,400	5,670	5,481	5,500	5,500	5,500	5,500
	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34									
	①附属診療所の患者延べ数(人)	5,400	5,670	5,481	5,500	5,500	5,500	5,500									

(4) 教育研修

全体	病院																																																																
<ul style="list-style-type: none"> ○ 研修医の安定的な確保・育成 ○ 指導医や専門医等の指導スタッフの確保・育成 ○ 教育研修プログラムの整備充実 ○ 教育研修に必要な設備・機能の充実 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①研修医の受入数(人)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>初期研修</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>後期研修</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>37</td> <td>45</td> <td>45</td> <td>45</td> <td>45</td> <td>45</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>②看護実習の受入数(人)</td> <td>33</td> <td>39</td> <td>28</td> <td>36</td> <td>36</td> <td>36</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>③地域の医療機関からの看護師、助産師の研修受入数(人)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>④コメディカルの研修受入数(人)</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table> <p>○看護大学院生教育体制の維持と機能強化(実施開始年度:21年度) ○医学生・看護学生・コメディカルの実習生を受け入れ、各専門分野において臨床現場における知識・技術の習得を養成校のカリキュラムに沿った内容で実習を行う。また、知識技術習得以外で医師や他職種の医療従事者との関わりを経験させる。(実施開始年度:26年度) ○日本専門医機構・学会認定の総合診療後期研修プログラムを維持し研修医を引き続き育成する。(実施開始年度:27年度) ○学術集会への参加・発表、国内外医学ジャーナル誌への投稿掲載支援、update文献サービスの無料提供、離島医師派遣事業を活用した講演会を年6回行うなど教育的活動を継続して行っていく。(実施開始年度:27年度) ○新専門医制度における研修施設の協力病院として確立する。(実施開始年度:30年度)</p>	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①研修医の受入数(人)								初期研修	1	4	3	4	4	4	4	後期研修	3	3	2	3	3	3	3	その他	37	45	45	45	45	45	45	②看護実習の受入数(人)	33	39	28	36	36	36	36	③地域の医療機関からの看護師、助産師の研修受入数(人)	0	0	0	0	0	0	0	④コメディカルの研修受入数(人)	15	16	16	16	16	16	16
	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																																																									
	①研修医の受入数(人)																																																																
初期研修	1	4	3	4	4	4	4																																																										
後期研修	3	3	2	3	3	3	3																																																										
その他	37	45	45	45	45	45	45																																																										
②看護実習の受入数(人)	33	39	28	36	36	36	36																																																										
③地域の医療機関からの看護師、助産師の研修受入数(人)	0	0	0	0	0	0	0																																																										
④コメディカルの研修受入数(人)	15	16	16	16	16	16	16																																																										

沖縄県立病院経営計画 実施計画

1 県立病院の役割

八重山病院は、一般医療はもとより、救急医療、精神医療において、八重山医療圏の中核的な病院となっており、高度医療、特殊医療、不採算医療、医療従事者への研修などの役割を担っている。

また、八重山医療圏が12の有人離島であるという地理的条件を踏まえ、可能な限り地域完結型医療の提供体制の整備に努めており、周辺離島からの救急搬送も受け入れているほか、与那国町立診療所の後方支援もを行っている。

周産期医療については、平成27年11月に、地域周産期母子医療センターに認定され、八重山医療圏における周産期医療の中核となっている。

さらに、平成28年4月には、地域がん診療病院として指定され、がん診療の均てん化を図っている。

このほか、附属診療所として、4つの診療所（大原診療所、西表西部診療所、小浜診療所、波照間診療所）を運営し、プライマリ・ケアを中心に地域に必要な医療を提供するとともに、相互に連携して救急医療にも対応している。

今後は、現在の病院の役割を維持しつつ、地域包括ケアシステムの構築に向けた役割についても、検討する必要がある。

2 経営目標

経常収支の黒字確保	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34
経常収支(百万円) (過去分退職給付引当金を除く)	311	△ 87	△ 423	△ 46	△ 104	△ 96	△ 24

3 経営の効率化に関する取組

(1) 収支の改善

	全体	病院							
		指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34
ア 収益の確保	○ 他医療機関との連携による患者数の確保、病床利用の効率化に努めるとともに、施設基準の取得やDPC分析の強化に加え査定・返戻の縮減等、引き続き収益の確保に向けて取り組む。	①入院患者総数(人)	77,626	77,496	81,831	84,154	84,384	84,154	84,154
		②外来患者総数(人)	104,095	104,979	96,364	125,751	125,751	12,751	130,551
		③病床利用率(稼働病床)(%)	73.8	73.7	84.9	87.3	87.3	87.3	87.3
		④在院日数(日)	13.4	13.4	13.8	13.8	13.8	13.8	13.8
		⑤入院診療単価(円)	41,190	40,619	38,493	40,663	44,613	44,806	45,000
		⑥外来診療単価(円)	11,098	11,362	13,096	11,578	11,974	118,659	12,111
		⑦診療報酬の返戻率(%)	1.60	1.62	1.50	1.40	1.30	1.30	1.30
		⑧診療報酬の査定率(%)	0.43	0.38	0.40	0.40	0.30	0.30	0.30
		⑨個人負担分医療未収金の残高(千円)	214,426	217,493	205,000	203,000	201,000	201,000	201,000
				○ 紹介患者(新患)の安定確保に向けた取り組み ・病院管理職による地域開業医、関係機関への定期訪問(実施開始年度:30年度) ・地域関係機関との連携会議等への参加(実施開始年度:30年度) ○ 病棟再編に係る(運用)の検討(実施開始年度:31年度)					
イ 費用の縮減	○ 材料費等の適正化や委託業務の見直し等を引き続き実施し、費用の縮減に取り組む。	①材料費比率(%)	18.9	18.8	20.4	18.1	16.9	16.8	16.8
		②医療材料費比率(%)	17.7	17.6	18.4	17.0	15.8	15.8	15.8
		③経費比率(%)	16.3	17.3	21.0	18.0	16.8	16.7	16.5
		④委託比率(%)	10.7	12.7	13.5	11.6	10.8	10.8	10.6
		⑤後発医薬品使用比率(%)	82.5	86.7	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
				○ 購入品目の見直し(各種委員会での検討)(実施開始年度:30年度) ○ 後発医薬品の切替に関する提案(実施開始年度:30年度) ○ 後発医薬品採用比率(自費・労災を除く)(実施開始年度:30年度) *使用量ベース					

(2) 経営の安定性

	全体	病院							
		指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34
ア 資金の確保	○ 収益的収支における資金を確保するため、引き続き、収益の確保・費用の縮減に取り組む。	①経常収支比率(%)	105.7	98.5	92.1	98.2	97.5	97.6	98.6
		②医療収支比率(%)	89.2	83.4	79.6	83.5	84.9	84.9	86.1
		③職員給与対医療収益比率(%)	70.2	77.4	77.8	67.7	69.2	69.1	67.9
		④流動比率(%)	166.0	116.5	42.3%	82.8%	134.9%	161.2%	151.3%
		⑤投資額(百万円)	2,103	4,452	1,713	164	224	64	214
		⑥企業債償還額(百万円)	169	181	181	588	1,234	573	717
		取組内容(病院個別) ○ 経費(光熱費、旅費交通費、通信運搬費、委託費等)縮減に向けた企画・提案(実施開始年度:30年度) *投資額:「建設工事費」「改良工事」「医療機器及び備品」合計							

	全体	病院																																								
イ 人 材 の 体 制 の 確 保 と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県立病院の役割を踏まえ、医療提供体制の確保と経営の影響等を総合的に考慮し、医療制度改革の動向を注視しつつ、事業運営に必要な人員体制を整備する。 ○ 他の医療機関との協力連携の強化や県内外での説明会の実施、研修制度の充実等によって医師・看護師等の安定確保を行う。 ○ 医療の適切かつ安定的な提供と経営の効率化に資する人材を育成するため、各種研修等を推進し職員の資質及び能力の向上を図る。特に事務部門においては、病院運営の知識に優れた人材を育成し、専門性の強化を図る。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①離職率(看護部)</td> <td>8.1%</td> <td>5.1%</td> <td>6.0%</td> <td>6.0%</td> <td>6.0%</td> <td>6.0%</td> <td>6.0%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>取組内容(病院個別)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人材の安定確保 <ul style="list-style-type: none"> ・医師、看護師の勤務環境及び処遇改善(実施開始年度:30年度) ・看護師2交代制の実施(実施開始年度:30年度) ・ホームページの更新(全国からの看護師募集)(実施開始年度:30年度) ○ 地域への情報発信(地元から多くの医療従事者を輩出するための取組) <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座、お仕事説明会等の開催(実施開始年度:31年度) ・地域高校生等を対象として体験学習等の受入(実施開始年度:30年度) ○ 事務部門の人材育成、専門性の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・病院事務局事務職員人材育成プランに沿った業務ローテーションの策定(実施開始年度:30年度) ・県内外の各種研修会等への参加(予算の確保)(実施開始年度:30年度) ○ 認定看護師を計画的に育成し、適切に配置することで、新規施設基準の取得と加算の維持を推進する。 <ul style="list-style-type: none"> ・がん化学療法看護認定看護師:がん患者指導管理料/外来緩和ケア管理料/在宅患者訪問看護指導料(実施開始年度:30年度) ・緩和ケア認定看護師:がん患者指導管理料/外来緩和ケア管理料/緩和ケア診療加算/在宅患者訪問看護指導料(実施開始年度:30年度) 	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①離職率(看護部)	8.1%	5.1%	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%																								
	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																																		
①離職率(看護部)	8.1%	5.1%	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%																																			
ウ 効 果 的 ・ 効 率 的 な 設 備 投 資	<ul style="list-style-type: none"> ○ 医療ニーズや施設状況の把握、企業債の償還シミュレーション等に基づいた経営的な視点での検討を前提に、選択と集中によって戦略的な経営を展開し、収益拡大に向け効果的・効率的な設備投資を行う。 ○ 医療機器(情報システム含む)の調達にあたっては、他病院や県立病院間の調達情報の収集・分析、県立病院間での一括調達の推進、競争入札による競争性を確保する等の取組により調達価格の低廉化を図る。 ○ 施設整備については、沖縄県立病院施設等総合管理計画(現在策定中)に基づき、ファシリティマネジメントを活用した中長期的な改修・更新を行う。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①機器選定委員会の開催回数</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>取組内容(病院個別)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成29年度実績 <ul style="list-style-type: none"> 第1回医療機械備品等整備委員会 <ul style="list-style-type: none"> 日時 平成29年10月2日 内容 平成30年度資産購入費の予算要求にかかる院内優先順位の決定 第1回医療機器機種選定委員会 <ul style="list-style-type: none"> 日時 平成29年12月15日 内容 高額機器(アンギオ)の購入計画の策定 第1回医療機器整備検討委員会(「医療機器機種選定委員会」からの改称) <ul style="list-style-type: none"> 日時 平成29年12月16日 内容 高額機器(CT)の購入計画の策定 ○ 高額機器(設備)等における購入計画の策定(実施開始年度:30年度) ○ 機器購入、保守契約に関する価格調査(情報収集)(実施開始年度:30年度) ○ 医療機器の利用(稼動)状況に関する評価、目標値の設定(実施開始年度:30年度) 	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①機器選定委員会の開催回数	3	3	3	3	3	3	3	②								③								④							
	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																																		
①機器選定委員会の開催回数	3	3	3	3	3	3	3																																			
②																																										
③																																										
④																																										

4 役割を果たしていくための取組

(1) 救急医療

全体	病院																								
<ul style="list-style-type: none"> ○ 24時間365日、救急患者を受け入れるための環境の整備 ○ 市町村及び地域医療機関等との更なる連携の強化 ○ 北部及び離島での安定した医療スタッフの確保 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①救急入院患者延数(人)</td> <td>3,250</td> <td>3,189</td> <td>3,300</td> <td>3,403</td> <td>3,393</td> <td>3,393</td> <td>3,393</td> </tr> <tr> <td>②救急車搬送件数(件)</td> <td>1,766</td> <td>1,941</td> <td>1,828</td> <td>1,885</td> <td>1,880</td> <td>1,880</td> <td>1,880</td> </tr> </tbody> </table>	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①救急入院患者延数(人)	3,250	3,189	3,300	3,403	3,393	3,393	3,393	②救急車搬送件数(件)	1,766	1,941	1,828	1,885	1,880	1,880	1,880
	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																	
	①救急入院患者延数(人)	3,250	3,189	3,300	3,403	3,393	3,393	3,393																	
②救急車搬送件数(件)	1,766	1,941	1,828	1,885	1,880	1,880	1,880																		
<p>取組内容(病院個別)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 救急医療に携わる担当医師の負担軽減に向けた取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・人員体制の強化、応援体制の充実、勤務形態や処遇改善(実施開始年度:30年度) 																									

(2) 小児・産産期医療

全体	病院																																																																
<ul style="list-style-type: none"> ○ 安定した小児医療提供体制の整備と機能の充実 ○ 産産期医療の中核となる総合・地域産産期母子医療センターの充実 ○ 専門医師、看護師、助産師等の安定的な人材の確保 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①分娩件数(件)</td> <td>510</td> <td>519</td> <td>500</td> <td>500</td> <td>500</td> <td>500</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>うち異常分娩件数(件)</td> <td>132</td> <td>147</td> <td>145</td> <td>145</td> <td>145</td> <td>145</td> <td>145</td> </tr> <tr> <td>②NICU入院患者延数(人)</td> <td>617</td> <td>555</td> <td>625</td> <td>782</td> <td>780</td> <td>780</td> <td>780</td> </tr> <tr> <td>③小児患者延数(人)入院</td> <td>5,116</td> <td>5,114</td> <td>5,390</td> <td>5,198</td> <td>5,235</td> <td>5,235</td> <td>5,235</td> </tr> <tr> <td>④小児患者延数(人)外来</td> <td>15,928</td> <td>16,963</td> <td>15,575</td> <td>18,243</td> <td>18,243</td> <td>18,243</td> <td>18,243</td> </tr> <tr> <td>⑤PICU入院患者延数(人)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>⑥GCU入院患者延数(人)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>597</td> <td>1,201</td> <td>1,198</td> <td>1,198</td> <td>1,198</td> </tr> </tbody> </table>	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①分娩件数(件)	510	519	500	500	500	500	500	うち異常分娩件数(件)	132	147	145	145	145	145	145	②NICU入院患者延数(人)	617	555	625	782	780	780	780	③小児患者延数(人)入院	5,116	5,114	5,390	5,198	5,235	5,235	5,235	④小児患者延数(人)外来	15,928	16,963	15,575	18,243	18,243	18,243	18,243	⑤PICU入院患者延数(人)	-	-	-	-	-	-	-	⑥GCU入院患者延数(人)	-	-	597	1,201	1,198	1,198	1,198
	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																																																									
	①分娩件数(件)	510	519	500	500	500	500	500																																																									
	うち異常分娩件数(件)	132	147	145	145	145	145	145																																																									
	②NICU入院患者延数(人)	617	555	625	782	780	780	780																																																									
	③小児患者延数(人)入院	5,116	5,114	5,390	5,198	5,235	5,235	5,235																																																									
	④小児患者延数(人)外来	15,928	16,963	15,575	18,243	18,243	18,243	18,243																																																									
⑤PICU入院患者延数(人)	-	-	-	-	-	-	-																																																										
⑥GCU入院患者延数(人)	-	-	597	1,201	1,198	1,198	1,198																																																										
<p>取組内容(病院個別)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小児・産産期医療に携わる医師、看護師等の負担軽減に向けた取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・人員体制の強化、応援体制の充実、勤務形態や処遇改善(実施開始年度:30年度) 																																																																	

(3) 離島・へき地医療

全体	病院																																
<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内外の大学や医療機関と連携による医師の確保 ○ 島しょ看護に係る研修の実施 ○ 代診・代看等による勤務スタッフの研修参加等の支援 ○ 附属診療所における医療提供体制を維持するための市町村との更なる連携・協力 ○ 設備や医療機器等の整備 ○ 新八重山病院の新築移転による医療提供体制の整備充実 ○ 中部病院及び南部医療センター・こども医療センターからの北部及び離島への応援体制の充実 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①附属診療所の患者延べ数(人)</td> <td>14,210</td> <td>15,110</td> <td>14,634</td> <td>14,213</td> <td>14,213</td> <td>14,213</td> <td>14,213</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①附属診療所の患者延べ数(人)	14,210	15,110	14,634	14,213	14,213	14,213	14,213																
	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																									
	①附属診療所の患者延べ数(人)	14,210	15,110	14,634	14,213	14,213	14,213	14,213																									
<p>取組内容(病院個別)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市町村(石垣市、竹富町、与那国町)との連携会議の定期開催 <ul style="list-style-type: none"> ・離島Web会議(実施開始年度:30年度) 																																	

(4) 教育研修

全体	病院																																																								
<ul style="list-style-type: none"> ○ 研修医の安定的な確保・育成 ○ 指導医や専門医等の指導スタッフの確保・育成 ○ 教育研修プログラムの整備充実 ○ 教育研修に必要な設備・機能の充実 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①研修医の受入数(人)</td> <td>5</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>初期研修</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>後期研修</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>5</td> <td>13</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>②看護実習の受入数(人)</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>0</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>③看護学生以外の実習受入延人数</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①研修医の受入数(人)	5	13	12	12	12	12	12	初期研修	0	0	0	2	2	2	2	後期研修	0	0	2	3	3	3	3	その他	5	13	10	7	7	7	7	②看護実習の受入数(人)	15	16	0	16	16	16	16	③看護学生以外の実習受入延人数	4	5	5	5	5	5	5
	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																																																	
	①研修医の受入数(人)	5	13	12	12	12	12	12																																																	
	初期研修	0	0	0	2	2	2	2																																																	
後期研修	0	0	2	3	3	3	3																																																		
その他	5	13	10	7	7	7	7																																																		
②看護実習の受入数(人)	15	16	0	16	16	16	16																																																		
③看護学生以外の実習受入延人数	4	5	5	5	5	5	5																																																		
<p>取組内容(病院個別)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 臨床研修部門の設置(新病院) <ul style="list-style-type: none"> ・専門研修の充実や専門資格の取得支援を行い認定医や専門医、認定看護師など専門性の高い医師や看護師等の養成・確保に取り組む。(実施開始年度:30年度) ・インターネット端末等マルチメディアに対応した研修室を整備(実施開始年度:30年度) 																																																									

沖縄県立病院経営計画 実施計画

1 県立病院の役割

精和病院は、本県の精神医療の中核的機能を担う病院として、民間病院では対応困難な触法患者や、治療抵抗性の患者を多く受け入れており、また、結核合併症患者の受入れや、離島・へき地の精神医療への協力及び支援を行い、地域医療の確保に努めている。
精神科救急については、精神科救急医療体制当番病院として、平日夜間及び土日祝日の救急患者の受入れを行い、精神保健福祉の充実を図っている。
なお、精神医療においては、「精神保健医療福祉の改革ビジョン(平成16年)」における「入院医療中心から地域生活中心へ」の理念に沿って、長期入院患者の退院促進を図るとともに、本県の精神保健医療分野における公立精神科病院としての今後のあり方について、検討する必要がある。

2 経営目標

経常収支の黒字確保	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34
経常収支(百万円) (過去分退職給付引当金を除く)	△ 98	△ 108	△ 194	△ 204	△ 271	△ 105	129

3 経営の効率化に関する取組

(1) 収支の改善

ア 収益の確保	全体	病院																																																																															
	<ul style="list-style-type: none"> 他医療機関との連携による患者数の確保、病床利用の効率化に努めるとともに、施設基準の取得(やDPC分析の強化)に加え査定・返戻の縮減等、引き続き収益の確保に向けて取り組む。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①入院患者総数(人)</td> <td>77,385</td> <td>71,835</td> <td>69,005</td> <td>62,105</td> <td>60,749</td> <td>62,415</td> <td>62,415</td> </tr> <tr> <td>②外来患者総数(人)</td> <td>29,141</td> <td>30,440</td> <td>31,700</td> <td>31,700</td> <td>34,700</td> <td>41,300</td> <td>44,900</td> </tr> <tr> <td>③病床利用率(稼働病床)(%)</td> <td>89.1</td> <td>82.7</td> <td>88.7</td> <td>79.9</td> <td>86.2</td> <td>92.4</td> <td>92.4</td> </tr> <tr> <td>④在院日数(日)</td> <td>204.0</td> <td>224.2</td> <td>200.0</td> <td>195.0</td> <td>190.0</td> <td>180.0</td> <td>180.0</td> </tr> <tr> <td>⑤入院診療単価(円)</td> <td>14,985</td> <td>15,925</td> <td>16,021</td> <td>16,456</td> <td>16,614</td> <td>16,372</td> <td>16,372</td> </tr> <tr> <td>⑥外来診療単価(円)</td> <td>13,215</td> <td>12,886</td> <td>11,980</td> <td>11,980</td> <td>11,712</td> <td>11,579</td> <td>11,657</td> </tr> <tr> <td>⑦診療報酬の返戻率(%)</td> <td>0.63</td> <td>0.63</td> <td>0.6</td> <td>0.60</td> <td>0.60</td> <td>0.60</td> <td>0.60</td> </tr> <tr> <td>⑧診療報酬の査定率(%)</td> <td>0.05</td> <td>0.07</td> <td>0.05</td> <td>0.05</td> <td>0.05</td> <td>0.05</td> <td>0.05</td> </tr> <tr> <td>⑨個人負担分医療未収金の残高(千円)</td> <td>34,570</td> <td>34,789</td> <td>27,116</td> <td>26,845</td> <td>26,577</td> <td>26,311</td> <td>26,048</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 急性期病棟・療養病棟の効率的運用(実施開始年度:継続実施中) 地域連携室を窓口にした紹介患者の積極的受入れ(実施開始年度:継続実施中) 精神科地域移行実施加算・精神科急性期医師配置加算の継続取得デイクア・作業療法・訪問看護の強化(実施開始年度:継続実施中) 医療観察法鑑定入院の積極的受入れ(実施開始年度:継続実施中) 未収金の発生防止と早期回収(実施開始年度:継続実施中) 	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①入院患者総数(人)	77,385	71,835	69,005	62,105	60,749	62,415	62,415	②外来患者総数(人)	29,141	30,440	31,700	31,700	34,700	41,300	44,900	③病床利用率(稼働病床)(%)	89.1	82.7	88.7	79.9	86.2	92.4	92.4	④在院日数(日)	204.0	224.2	200.0	195.0	190.0	180.0	180.0	⑤入院診療単価(円)	14,985	15,925	16,021	16,456	16,614	16,372	16,372	⑥外来診療単価(円)	13,215	12,886	11,980	11,980	11,712	11,579	11,657	⑦診療報酬の返戻率(%)	0.63	0.63	0.6	0.60	0.60	0.60	0.60	⑧診療報酬の査定率(%)	0.05	0.07	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	⑨個人負担分医療未収金の残高(千円)	34,570	34,789	27,116	26,845	26,577	26,311
指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																																																																										
①入院患者総数(人)	77,385	71,835	69,005	62,105	60,749	62,415	62,415																																																																										
②外来患者総数(人)	29,141	30,440	31,700	31,700	34,700	41,300	44,900																																																																										
③病床利用率(稼働病床)(%)	89.1	82.7	88.7	79.9	86.2	92.4	92.4																																																																										
④在院日数(日)	204.0	224.2	200.0	195.0	190.0	180.0	180.0																																																																										
⑤入院診療単価(円)	14,985	15,925	16,021	16,456	16,614	16,372	16,372																																																																										
⑥外来診療単価(円)	13,215	12,886	11,980	11,980	11,712	11,579	11,657																																																																										
⑦診療報酬の返戻率(%)	0.63	0.63	0.6	0.60	0.60	0.60	0.60																																																																										
⑧診療報酬の査定率(%)	0.05	0.07	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05																																																																										
⑨個人負担分医療未収金の残高(千円)	34,570	34,789	27,116	26,845	26,577	26,311	26,048																																																																										
イ 費用の縮減	全体	病院																																																																															
	<ul style="list-style-type: none"> 材料費等の適正化や委託業務の見直し等を引き続き実施し、費用の縮減に取り組む。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①材料費比率(%)</td> <td>18.7</td> <td>16.9</td> <td>18.0</td> <td>18.7</td> <td>18.5</td> <td>17.6</td> <td>17.2</td> </tr> <tr> <td>②医療材料費比率(%)</td> <td>15.1</td> <td>13.4</td> <td>14.4</td> <td>15.2</td> <td>15.1</td> <td>14.3</td> <td>13.9</td> </tr> <tr> <td>③経費比率(%)</td> <td>12.3</td> <td>13.5</td> <td>16.3</td> <td>17.3</td> <td>17.4</td> <td>16.5</td> <td>16.1</td> </tr> <tr> <td>④委託比率(%)</td> <td>5.1</td> <td>5.6</td> <td>6.5</td> <td>7.0</td> <td>7.0</td> <td>6.7</td> <td>6.5</td> </tr> <tr> <td>⑤後発医薬品使用率(%)</td> <td>88.1</td> <td>85.1</td> <td>88.1</td> <td>88.1</td> <td>88.1</td> <td>88.1</td> <td>88.1</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 後発医薬品の採用拡大(実施開始年度:継続実施中) 薬品・診療材料の適正な在庫管理(実施開始年度:継続実施中) 薬品・診療材料の低廉購入(実施開始年度:継続実施中) 給食材料費の適正な執行(実施開始年度:継続実施中) 委託業務の見直し等の継続実施(実施開始年度:継続実施中) 	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①材料費比率(%)	18.7	16.9	18.0	18.7	18.5	17.6	17.2	②医療材料費比率(%)	15.1	13.4	14.4	15.2	15.1	14.3	13.9	③経費比率(%)	12.3	13.5	16.3	17.3	17.4	16.5	16.1	④委託比率(%)	5.1	5.6	6.5	7.0	7.0	6.7	6.5	⑤後発医薬品使用率(%)	88.1	85.1	88.1	88.1	88.1	88.1	88.1																															
指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																																																																										
①材料費比率(%)	18.7	16.9	18.0	18.7	18.5	17.6	17.2																																																																										
②医療材料費比率(%)	15.1	13.4	14.4	15.2	15.1	14.3	13.9																																																																										
③経費比率(%)	12.3	13.5	16.3	17.3	17.4	16.5	16.1																																																																										
④委託比率(%)	5.1	5.6	6.5	7.0	7.0	6.7	6.5																																																																										
⑤後発医薬品使用率(%)	88.1	85.1	88.1	88.1	88.1	88.1	88.1																																																																										

(2) 経営の安定性

ア 資金の確保	全体	病院																																																							
	<ul style="list-style-type: none"> 収益的収支における資金を確保するため、引き続き、収益の確保・費用の縮減に取り組む。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①経常収支比率(%)</td> <td>95.8</td> <td>95.4</td> <td>88.9</td> <td>88.5</td> <td>86.8</td> <td>93.1</td> <td>101.7</td> </tr> <tr> <td>②営業収支比率(%)</td> <td>68.6</td> <td>67.8</td> <td>62.0</td> <td>58.7</td> <td>55.1</td> <td>58.1</td> <td>59.7</td> </tr> <tr> <td>③職員給与対営業収益比率(%)</td> <td>109.6</td> <td>112.0</td> <td>121.7</td> <td>128.7</td> <td>136.3</td> <td>128.7</td> <td>125.0</td> </tr> <tr> <td>④流動比率(%)</td> <td>91.9</td> <td>96.3</td> <td>63.8</td> <td>-1.0</td> <td>-53.8</td> <td>-87.4</td> <td>-30.1</td> </tr> <tr> <td>⑤投資額(百万円)</td> <td>25</td> <td>26</td> <td>28</td> <td>121</td> <td>162</td> <td>63</td> <td>152</td> </tr> <tr> <td>⑥企業償還額(百万円)</td> <td>37</td> <td>34</td> <td>34</td> <td>35</td> <td>37</td> <td>41</td> <td>47</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 新規患者の受け入れ・施設基準の取得等による医療収入の確保(実施開始年度:継続実施中) すべての経費の分析と見直しによる費用の削減(実施開始年度:継続実施中) 自動販売機の設置や職員への駐車場貸付等による医療外収益の確保(実施開始年度:平成27年度) 施設整備費・資産購入費の計画的な執行(実施開始年度:継続実施中) 	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①経常収支比率(%)	95.8	95.4	88.9	88.5	86.8	93.1	101.7	②営業収支比率(%)	68.6	67.8	62.0	58.7	55.1	58.1	59.7	③職員給与対営業収益比率(%)	109.6	112.0	121.7	128.7	136.3	128.7	125.0	④流動比率(%)	91.9	96.3	63.8	-1.0	-53.8	-87.4	-30.1	⑤投資額(百万円)	25	26	28	121	162	63	152	⑥企業償還額(百万円)	37	34	34	35	37	41
指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																																																		
①経常収支比率(%)	95.8	95.4	88.9	88.5	86.8	93.1	101.7																																																		
②営業収支比率(%)	68.6	67.8	62.0	58.7	55.1	58.1	59.7																																																		
③職員給与対営業収益比率(%)	109.6	112.0	121.7	128.7	136.3	128.7	125.0																																																		
④流動比率(%)	91.9	96.3	63.8	-1.0	-53.8	-87.4	-30.1																																																		
⑤投資額(百万円)	25	26	28	121	162	63	152																																																		
⑥企業償還額(百万円)	37	34	34	35	37	41	47																																																		

イ 人 材 の 安 定 の 確 保 と	全体	<p>○ 県立病院の役割を踏まえ、医療提供体制の確保と経営の影響等を総合的に考慮し、医療制度改革の動向を注視しつつ、事業運営に必要な人員体制を整備する。</p> <p>○ 他の医療機関との協力連携の強化や県内外での説明会の実施、研修制度の充実等によって医師・看護師等の安定確保を行う。</p> <p>○ 医療の適切かつ安定的な提供と経営の効率化に資する人材を育成するため、各種研修等を推進し職員の資質及び能力の向上を図る。特に事務部門においては、病院運営の知識に優れた人材を育成し、専門性の強化を図る。</p>
	病院	

指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34
①医師の勤務体制の整備							
②							
③							
④							

○労基法に基づく時間外勤務を適用する為、医師の交替制勤務、変則勤務体制等の導入。(実施開始年度:平成29年度)

ウ 効 果 的 ・ 効 率 的 な 設 備 投 資	全体	<p>○ 医療ニーズや施設状況の把握、企業価値の償還シミュレーション等に基づいた経営的な視点での検討を前提に、選択と集中によって戦略的な経営を展開し、収益拡大に向け効果的・効率的な設備投資を行う。</p> <p>○ 医療機器(情報システム含む)の調達にあたっては、他病院や県立病院間の調達情報の収集・分析、県立病院間での一括調達の推進、競争入札による競争性を確保する等の取組により調達価格の低廉化を図る。</p> <p>○ 施設整備については、沖縄県立病院施設等総合管理計画(現在策定中)に基づき、ファシリティマネジメントを活用した中長期的な改修・更新を行</p>
	病院	

指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34
①医師当直室整備(千円)		3,660					
②薬局空調設備更新(千円)		4,299					
③厨房空調設備整備(千円)		2,376					
④医療ガス設備整備(千円)			4,860				
⑤医療機器等購入(千円)			8,532				
⑥調剤支援システム更新(千円)			16,308				
⑦空調設備(チラー)更新(千円)				99,210			
⑧医療機器等購入(千円)				9,011			
⑨医事会計システム更新(千円)					52,206		
⑩給食管理システム更新(千円)				12,681			
⑪臨床検査システム更新(千円)				5,976			
⑫院内ネットワークパソコン一式更新(千円)				23,620			
⑬東1病棟改修(千円)					39,996		
⑭ボイラー設備更新(千円)					42,900		
⑮医療機器等購入(千円)					23,266		
⑯オーダーリングシステム導入(千円)					168,000		
⑰医療機器等購入(千円)						7,125	
⑱非常用発電設備更新(発電機本体)(千円)							85,969
⑲医療機器等購入(千円)							10,060

○後期研修医受入れのため、医師当直室を新たに1部屋整備する。(現在1部屋のみ)(実施開始年度:平成29年度)

○経年劣化による故障が発生している薬局空調設備を更新する。(実施開始年度:平成29年度)

○厨房の室温が高温状態にならないよう衛生的な厨房環境確保のため、空調設備を追加整備する。(実施開始年度:平成29年度)

○全身麻酔下における精神科電気痙攣療法を導入するため、医療ガス設備を整備する。(実施開始年度:平成30年度)

○薬局の調剤支援システム一式を更新する。(実施開始年度:平成30年度)

○空調設備(チラー)が経年劣化により故障が頻発し部品の製造が終了しているため、設備を更新する。(実施開始年度:平成31年度)

○東1病棟を男女混合病棟にするため改修を行う。(実施開始年度:平成32年度)

○耐用年数を大幅に超過したボイラー設備を更新する。(実施開始年度:平成32年度)

○業務の効率化を図るため、オーダーリングシステムを導入する。(実施開始年度:平成32年度)

○耐用年数及びメーカー推奨期間を超過した非常用発電設備(発電機部分)を更新する。(実施開始年度:平成34年度)

○医療機器・検査機器・厨房器具等の更新を優先順位を定め、より効果的、効率的な設備投資を行う。

4 役割を果たしていくための取組

(1) 救急医療

全体	病院																								
<ul style="list-style-type: none"> ○ 24時間365日、救急患者を受け入れるための環境の整備 ○ 市町村及び地域医療機関等との更なる連携の強化 ○ 北部及び離島での安定した医療スタッフの確保 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①救急入院患者延数(人)</td> <td>114</td> <td>84</td> <td>114</td> <td>114</td> <td>114</td> <td>114</td> <td>114</td> </tr> <tr> <td>②救急車両受入数(件)</td> <td>65</td> <td>53</td> <td>65</td> <td>65</td> <td>65</td> <td>65</td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table>	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①救急入院患者延数(人)	114	84	114	114	114	114	114	②救急車両受入数(件)	65	53	65	65	65	65	65
	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																	
	①救急入院患者延数(人)	114	84	114	114	114	114	114																	
②救急車両受入数(件)	65	53	65	65	65	65	65																		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 沖縄県精神科救急医療体制当番として、平日夜間及び土日祝日の救急患者の受け入れ(実施開始年度:平成10年度) ○ 応急入院指定病院としての対応(実施開始年度:平成10年度) 																									

(2) 小児・周産期医療

全体	病院																																																
<ul style="list-style-type: none"> ○ 安定した小児医療提供体制の整備と機能の充実 ○ 周産期医療の中核となる総合・地域周産期母子医療センターの充実 ○ 専門医師、看護師、助産師等の安定的な人材の確保 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①分娩件数(件)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>うち異常分娩件数(件)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②NICU入院患者延数(人)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③小児患者延数(人)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④PICU入院患者延数(人)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①分娩件数(件)								うち異常分娩件数(件)								②NICU入院患者延数(人)								③小児患者延数(人)								④PICU入院患者延数(人)							
	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																																									
	①分娩件数(件)																																																
	うち異常分娩件数(件)																																																
	②NICU入院患者延数(人)																																																
③小児患者延数(人)																																																	
④PICU入院患者延数(人)																																																	
○ 取組内容を記載																																																	
○ ……																																																	
○ ……																																																	
○ ……																																																	
○ ……																																																	

(3) 離島・へき地医療

全体	病院																
<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内外の大学や医療機関と連携による医師の確保 ○ 島しょ看護に係る研修の実施 ○ 代診・代看等による勤務スタッフの研修参加等の支援 ○ 附属診療所における医療提供体制を維持するための市町村との更なる連携・協力 ○ 設備や医療機器等の整備 ○ 新八重山病院の新築移転による医療提供体制の整備充実 ○ 中部病院及び南部医療センター・子ども医療センターからの北部及び離島への応援体制の充実 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①附属診療所の患者延べ数(人)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①附属診療所の患者延べ数(人)							
	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34									
	①附属診療所の患者延べ数(人)																
	○ 取組内容と関連指標の目標等を記載																
	○ ……																
	○ ……																
	○ ……																
○ ……																	
○ ……																	

(4) 教育研修

全体	病院																																																																
<ul style="list-style-type: none"> ○ 研修医の安定的な確保・育成 ○ 指導医や専門医等の指導スタッフの確保・育成 ○ 教育研修プログラムの整備充実 ○ 教育研修に必要な設備・機能の充実 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H28(実績)</th> <th>H29(実績)</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①研修医の受入数(人)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>初期研修</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>後期研修</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>19</td> <td>26</td> <td>26</td> <td>26</td> <td>26</td> <td>26</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>②看護実習の受入数(人)</td> <td>99</td> <td>114</td> <td>114</td> <td>114</td> <td>114</td> <td>114</td> <td>114</td> </tr> <tr> <td>③地域の医療機関からの看護師、助産師の研修受入数(人)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④コメディカルの研修受入数(人)</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34	①研修医の受入数(人)								初期研修	0	0						後期研修	0	1	1	1	1	1	1	その他	19	26	26	26	26	26	26	②看護実習の受入数(人)	99	114	114	114	114	114	114	③地域の医療機関からの看護師、助産師の研修受入数(人)								④コメディカルの研修受入数(人)	4	4	4	4	4	4	4
	指標	H28(実績)	H29(実績)	H30	H31	H32	H33	H34																																																									
	①研修医の受入数(人)																																																																
	初期研修	0	0																																																														
	後期研修	0	1	1	1	1	1	1																																																									
その他	19	26	26	26	26	26	26																																																										
②看護実習の受入数(人)	99	114	114	114	114	114	114																																																										
③地域の医療機関からの看護師、助産師の研修受入数(人)																																																																	
④コメディカルの研修受入数(人)	4	4	4	4	4	4	4																																																										
○ 医師当直室整備 後期研修医受入れのため、新たに1部屋整備。(実施開始年度:平成29年度)																																																																	